

メディア透明性レポート

(2025 年度版)

LINE ヤフー株式会社

メディア透明性レポート(2025 年度版)

目次

メディア透明性レポートとは	3
【Yahoo!知恵袋編】	5
Yahoo!知恵袋について.....	5
1. Yahoo!知恵袋の提供目的	5
2. 禁止行為(利用のルール)について	5
3. 禁止行為(利用のルール)違反への対応について	6
4. 「知恵トーク」について	6
5. 2025 年度におけるコンテンツモデレーションの状況.....	7
【Yahoo!ファイナンス掲示板編】	25
Yahoo!ファイナンス掲示板について	25
1. Yahoo!ファイナンス掲示板の提供目的	25
2. 禁止行為について	26
3. 禁止行為に対する違反への対応について	26
4. 2025 年度におけるコンテンツモデレーションの状況.....	27
【LINE オープンチャット編】	43
LINE オープンチャットについて.....	43
1. LINE オープンチャットの提供目的	43
2. 禁止行為について	43
3. 禁止行為違反への対応について	44
4. 安心安全にご利用いただくためのコンテンツ	44
5. 新規・更新トークルームの表示制限	44
6. 特に危険な悪用事例に対する監視体制の強化と注意喚起	45
7. 2025 年度におけるコンテンツモデレーションの状況.....	45
【LINE VOOM 編】	64
LINE VOOM について	64
1. LINE VOOM の提供目的	64
2. 禁止行為について	64
3. 禁止行為違反への対応について	65
4. LINE Safety Center-LINE の安心安全ガイド.....	65
5. 2025 年度におけるコンテンツモデレーションの状況.....	66
【ヤフコメ編】	84
Yahoo!ニュース コメントについて	84
1. ヤフコメの提供目的	84
2. 禁止行為(コメントポリシー)について	84
3. 禁止行為(コメントポリシー)違反への対応について	85

4. ユーザー自身によるコメントの非表示設定	85
5. 投稿時注意メッセージの掲出	85
6. 2025 年度におけるコンテンツモデレーションの状況.....	86
【共通編】	103
自己評価.....	103
1. オンラインフォーム	103
2. 発信者に対する通知に記載する措置理由	108
3. 違反に対する人的・技術的体制の整備	109
4. 削除基準	112
5. 日本の利用者に関する送信防止措置の実施状況および違法・有害情報の流通状況	113
違反投稿の監視体制.....	116
1. 削除及び投稿停止の基準の改定(対象サービス共通).....	116
2. AI の仕組み.....	116
3. 専門チームによる対応体制	122
4. ボットの検出技術	123
5. 侵害情報調査専門員	124
インターネット上における言論空間の健全化を目指した取組	126
1. 建設的コメント順位付けモデルの API の無償提供(ヤフコメ).....	126
2. インターネットセーフティ啓発活動	126
3. 業界団体・官民連携による取組	127
4. 青少年の LINE 利用環境整備に関する取り組み	127
5. 偽・誤情報対策	130

メディア透明性レポートとは

LINE ヤフーでは、ユーザーが生活の身近な問題から重要な社会問題に至るまで幅広い問題について気軽に表現やコミュニケーション、意見表明・議論を行うことができる「場」として、複数の投稿型プラットフォームサービスを提供しています。

これらの投稿型プラットフォームでは、それぞれの目的や特性に応じた利用のルールやガイドラインを定め、個人に対する誹謗中傷等の不適切な投稿を禁止し、違反行為に対して投稿の削除や投稿停止措置等の厳正な措置を行う等、ユーザーが安心して利用できるよう様々な対策を実施しています。

一方、投稿型プラットフォームは現代社会における情報流通の基盤として重要な役割を果たしており、ユーザーがいかなる形での検閲も受けることなく自由闊達に情報の発信を行うことができる環境を確保していくことも重要です。コンテンツモデレーション(投稿の削除や投稿停止措置等)の実施にあたっては、不適切な投稿の排除と表現の自由との間で十分にバランスを確保しつつ、「過不足なく」実施していくことが求められています。

そこで、LINE ヤフーでは、社内に設置された「プラットフォームサービスの在り方に関する有識者会議」(座長：山本龍彦 慶應義塾大学大学院法務研究科教授)の提言(2020年12月)を踏まえ、2020年度以降の各年度において各サービスにおける投稿削除の実績やその実施のための社内体制等のコンテンツモデレーションの状況を「メディア透明性レポート」として公開しています。取組の状況を透明化し、ユーザーや外部有識者等からフィードバックをいただく機会を充実させることで、自らの取組のバランスを検証し継続的な改善につなげていきたいと考えています。

2025年4月には特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律(情報流通プラットフォーム対処法、以下「情プラ法」といいます)

が「特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律」(プロバイダ責任制限法)の改正法として施行され¹、大規模なプラットフォーム事業者等に対して、削除対応の迅速化と運用状況の透明化を目的とした新たな規律が課されることになりました。LINE ヤフーでは、同年4月30日にYahoo!知恵袋、Yahoo!ファイナンス掲示板、LINE オープンチャット及びLINE VOOMの4つのサービスが新たな規律の対象として指定されており、同年7月29日に総務省に対し必要な届出を行い、届出の日からこれらのサービスには新たな規律が課されました。LINE ヤフーは、情プラ法第28条に基づく公表として本レポートを公開するとともに、プラットフォーム事業者に求められる役割の変化を踏まえ、本レポートの内容をこれまで以上に充実させて取組状況の透明化に努めていきます。

本レポートは、2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)を対象期間とし、情プラ法の規律の対象となる4サービス(Yahoo!知恵袋、Yahoo!ファイナンス掲示板、LINE オープンチャットおよびLINE VOOM)に加え、LINE ヤフーにおける主要な投稿型プラットフォームサービスであるYahoo!ニュース コメントを対象として作成しています(以下、大規模特定電気通信役務に指定された4サービスとYahoo!ニュース コメントをあわせて「対象サービス」といいます)。

¹ https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/ihoyugai.html

【Yahoo!知恵袋編】

Yahoo!知恵袋について

1. Yahoo!知恵袋の提供目的

Yahoo!知恵袋(以下「知恵袋」といいます)は日常のあらゆる疑問をほかのユーザーに向けて質問したり、それらの質問に回答することで、疑問を解決していく「知恵」共有サービスです。

困っている人や課題を持っている人が、知恵袋を通じて「答え」や「気づき」を得られ、「答え」や「気づき」を提供した人は、その人の役に立ったという「助け合いの世界を作りたい」と考え、サービスを提供しています。

2. 禁止行為(利用のルール)について

知恵袋では、すべてのユーザーに、安心・安全な環境でサービスを楽しんでいただくことが、何よりも重要だと考えています。

ユーザーの意見が誰かの「気づき」や「知恵」の種となるよう、質問や回答について自由な投稿を可能としていますが、同時にすべてのユーザーに対して、利用のルールを遵守して思いやりをもってご利用いただくとともに、誹謗中傷その他利用のルールに違反するご利用はご遠慮いただくよう呼び掛けています。

- **利用のルール**

<https://chiebukuro.yahoo.co.jp/topic/guide/rule/>

例えば、個人情報の書き込み、法令に違反するもの、悪質なリンク、不快に感じるもの、誰かを傷つけたり、攻撃したりするような内容などは投稿が禁止されています。

なお、法第 26 条第 3 項に基づく基準の変更の対象となった情報は、2025 年度においては発生しませんでした。

3. 禁止行為(利用のルール)違反への対応について

投稿が利用のルールに違反したと判断された場合には、投稿の削除を行います。また、禁止事項に該当する蓋然性が高いと判断された投稿は、不適切な投稿として質問詳細ページにおいて非表示となることがあります。非表示状態となっている投稿は、ユーザーが「表示する」ボタンを押下すると、その内容を確認することができます。

さらに 2023 年度からは、ユーザーが連続投稿による荒らし行為等を実施していると判断された場合には、当該ユーザーによる連続投稿を抑制する仕組みを導入しています。

一定期間内に利用のルールに違反する投稿を一定数行ったユーザーは、知恵袋への投稿が 1 週間制限されます(一時投稿停止)。さらに、繰り返し利用のルールに違反する投稿を行い、複数回にわたって一時投稿停止されたアカウントに対しては、知恵袋の投稿を永久に停止させることがあります(完全投稿停止)。

また、上記の記載にかかわらず、明らかに悪意のある行為や不正利用には、知恵袋の完全投稿停止および Yahoo! JAPAN ID の利用停止といった措置を予告なく行う場合があります。

4. 「知恵トーク」について

2025 年 7 月 2 日から 2025 年 12 月 24 日にかけて、知恵袋では、チャット形式によりトークルームで気軽に会話を楽しめる「知恵トーク」を、クローズドβテストとして一部ユーザーを対象に提供していました。知恵トークにおいても、知恵袋と同一の利用のルールに基づき投稿の削除や投稿停止等を行っていました。

本レポートでは、特に断りのない限り、知恵袋に加え、知恵トークのデータを合算した数値を公表しています。

5. 2025 年度におけるコンテンツモデレーションの状況²

1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況

LINE ヤフーは、情プラ法上の「特定電気通信役務提供者」(いわゆるプロバイダ)として、提供している各投稿型プラットフォームサービスについて、利用規約に違反する投稿等によって権利を侵害された方(「被侵害者」)から、「侵害情報送信防止措置」として投稿の削除を求める請求(以下「削除請求」といいます)や、同法に基づく「発信者情報開示請求」として投稿者に関する氏名、住所、電話番号等の開示請求を受け付けています。また、公的機関から、当該機関が違法・有害情報に該当すると判断した投稿に関する削除要請を受領する場合があります。なお、上述した削除請求・開示請求ないし公的機関からの削除要請の受領方法は、ファイナンス掲示板・オープンチャット・VOOM・ヤフコメで共通です。

知恵袋における 2025 年度の対応状況は次のとおりです。

(1) 裁判外の請求³

削除請求投稿件数：157 件 (申出理由の別：人格権 155 件、その他 2 件)	
	削除に至った投稿件数：21 件 (申出理由の別：人格権 21 件) 削除に至らなかった投稿件数：136 件 (申出理由の別：人格権 134 件、その他 2 件)
開示請求投稿件数：10 件 (申出理由の別：人格権 10 件)	
	開示に至った投稿件数：0 件 開示に至らなかった投稿件数：10 件 (申出理由の別：人格権 10 件)

² 知恵袋は日本国内の利用者を主たる対象としたサービスであるため、以下のすべての数値は日本の利用者に関する数値とみなしています。

³ 書面による請求件数を計上しております。以下、他サービスにおいても同様です。

(2) 公的機関⁴からの要請

削除請求投稿件数：4 件 (申出理由の別：人格権 2 件、部落差別 2 件)	
削除に至った投稿件数：2 件 (申出理由の別：部落差別 2 件)	
削除に至らなかった投稿件数：2 件 (申出理由の別：人格権 2 件)	

(3) 裁判上の請求(訴訟)

削除請求投稿件数：22 件 (申立て理由の別：人格権 ⁵ 22 件)	
削除の判決または決定があった投稿件数 ⁶ ：6 件 (申立て理由の別：人格権 6 件)	
開示請求投稿件数：7 件 (申立て理由の別：人格権 7 件)	
開示の判決または決定があった投稿件数：3 件 (申立て理由の別：人格権 3 件)	

なお、裁判所から削除又は開示を行うよう判決又は決定があった場合は、すべてこれに従い削除または開示を行いました。

2. 削除と投稿停止の実施状況および削除と投稿停止の通知状況の概要

(1) 投稿件数と削除・削除通知件数

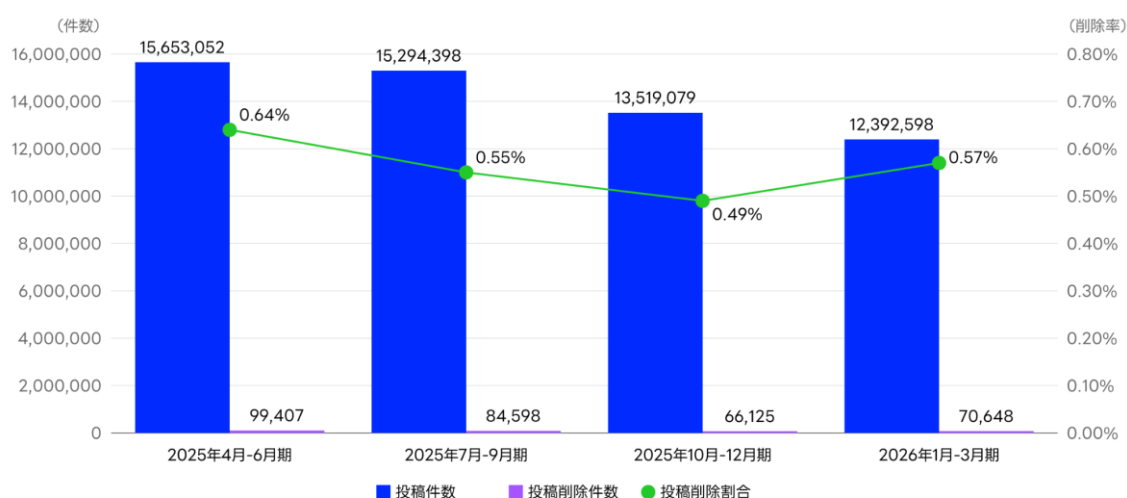
⁴ 公的機関からの請求は、警察機関によるものでした。

⁵ 「人格権侵害」には名誉権、プライバシー権、肖像権等の権利の侵害が含まれます。以下、他サービスにおいても同様です。

⁶ 2024 年度に判決または決定のあった件数であり、2024 年度以前に係属した事件で 2024 年度に判決または決定のあった件数も含まれます。以下、開示の判決又は決定の件数も同様です。また、他サービスも同様です。

知恵袋における 2025 年度の投稿件数⁷は **56,859,127 件(月平均 4,738,260.6 件)**でした。また、投稿削除件数⁸は **320,778 件(月平均 26,731.5 件)**でした。大規模 PF に課される義務への対応として期中より集計を開始した削除通知件数⁹は、**221,371 件(月平均 24,596.8 件)**でした。投稿数に対する投稿削除件数の割合¹⁰についてみると、2025 年度は **0.56%**でした。

[知恵袋] 四半期ごとの投稿件数と投稿削除・削除通知件数および投稿削除割合



四半期	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除通知件数(件)	削除割合 (%)
4-6 月期 (月平均)	15,653,052 (5,217,684.0)	99,407 (33,135.7)	-	0.64
7-9 月期 (月平均)	15,294,398 (5,098,132.7)	84,598 (28,199.3)	84,598 (28,199.3)	0.55

⁷ 質問投稿、回答投稿、返信投稿の件数をカウントしています。プロフィール設定数は含みません。

⁸ 2025 年度からは削除件数(質問投稿、回答投稿、返信投稿)に加え、プロフィールのリセット(表示名、紹介文、プロフィール画像等を強制的にデフォルトの表示にすること)およびアンケート質問削除数も含めています。

⁹ 削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。知恵袋における投稿削除通知開始は Web 版:6 月 11 日、アプリ版:6 月 16 日のため、同日以前を除き、通知件数は削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 7 月~2026 年 3 月として算出しています。

¹⁰ 投稿削除は当該年度以前に行われた投稿についても行われる場合があり、当該年度の投稿に対する投稿削除の割合とは誤差が生じます。投稿の削除数を分子として算出しています。以下、他サービスにおいても同様です。

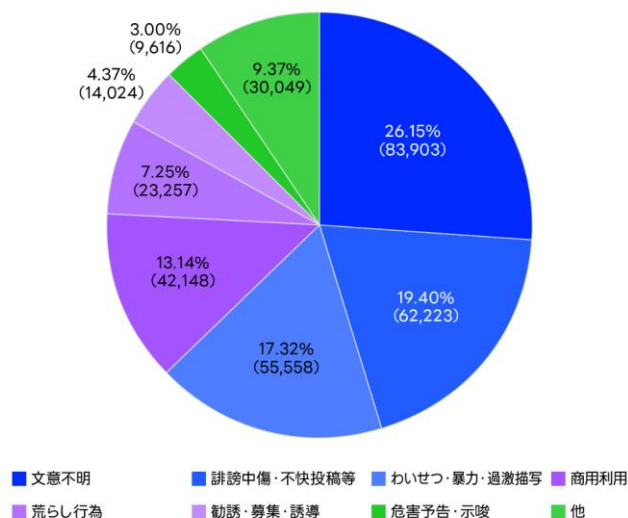
10-12 月期 (月平均)	13,519,079 (4,506,359.7)	66,125 (22,041.7)	66,125 (22,041.7)	0.49
1-3 月期 (月平均)	12,392,598(4,130,8 66.0)	70,648 (23,549.3)	70,648 (23,549.3)	0.57
年度合計 (月平均)	56,859,127 (4,738,260.6)	320,778 ¹¹ (26,731.5)	221,371 (24,596.8)	0.56 ¹²

<参考>

※2025 年度と異なりプロフィールリセットおよびアンケート質問削除は除外

年度	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除割合(%)
2024 年度合計 (月平均)	66,199,309 (5,516,609.1)	444,727 (37,060.6)	0.67

投稿削除件数を削除理由別にみると次のとおりです。



削除理由 ¹³	件数(件)	構成比(%)
--------------------	-------	--------

¹¹ 2024 年度と比較して削除数が減少した原因としては、利用ルールの改定により、禁止事項の説明や具体例が充実し、禁止事項が分かりやすくなった結果、場の健全性が向上したことが一因と考えられます。なお、2024 年度と同様プロフィールリセット(1,983 件)とアンケート削除(0 件)を集計対象外とした削除件数は 318,795 件でした。

¹² 2024 年度と同様にプロフィールリセットを集計対象外とした場合は、0.56%です。

¹³ なお、最終的な送信防止措置の判断はすべて人の目で行っており、知恵袋では AI モデルを用いた自動削除は行っていません。

文意不明	83,903	26.15
誹謗中傷・不快投稿等	62,223	19.40
わいせつ・暴力・過激描写	55,558	17.32
商用利用	42,148	13.14
荒らし行為	23,257	7.25
勧誘・募集・誘導	14,024	4.37
危害予告・示唆	9,616	3.00
法令違反	8,876	2.77
出会い目的	6,185	1.93
個人情報	4,212	1.31
児童ポルノ	3,920	1.22
差別・ヘイト	3,898	1.22
不謹慎	2,079	0.65
セキュリティリスク	245	0.08
プロフィール削除 ¹⁴	144	0.04
権利侵害	120	0.04
偽・誤情報	105	0.03
営業妨害	9	0.00
なりすまし	7	0.00
自作自演・印象煽動	6	0.00
その他 ¹⁵	243	0.08
合計	320,778	100.00

このように削除理由としては、「文意不明」「誹謗中傷・不快投稿等」「わいせつ・暴力・過激描写等」が多く、2024年度と同様の傾向にあります。

また、削除通知件数¹⁶を通知理由別にみると次のとおりです。

¹⁴ プロフィール削除の理由は7月に取得を開始したため、6月以前の削除は「プロフィール削除」としてカウントしていません。

¹⁵ すべて6月以前の件数となります。

¹⁶ 投稿削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。知恵袋における削除通知開始はWeb版：6月11日、アプリ版：6月16日のため、同日以前を除き、通知件数は削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を2025年7月～2026年3月として算出しています。

削除通知理由	件数(件)	構成比 ¹⁷ (%)
文意不明	57,308	25.90
誹謗中傷・不快投稿等	44,369	20.04
わいせつ・暴力・過激描写	38,757	17.51
商用利用	26,184	11.83
荒らし行為	15,383	6.95
勧誘・募集・誘導	10,832	4.89
危害予告・示唆	8,534	3.86
法令違反	5,865	2.65
出会い目的	3,981	1.80
個人情報	3,344	1.51
児童ポルノ	2,654	1.20
差別・ヘイト	2,588	1.17
不謹慎	1,359	0.61
権利侵害	110	0.05
偽・誤情報	46	0.02
セキュリティリスク	30	0.01
営業妨害	9	0.00
なりすまし	7	0.00
自作自演・印象煽動	4	0.00
その他	7	0.00
合計	221,371	100.00

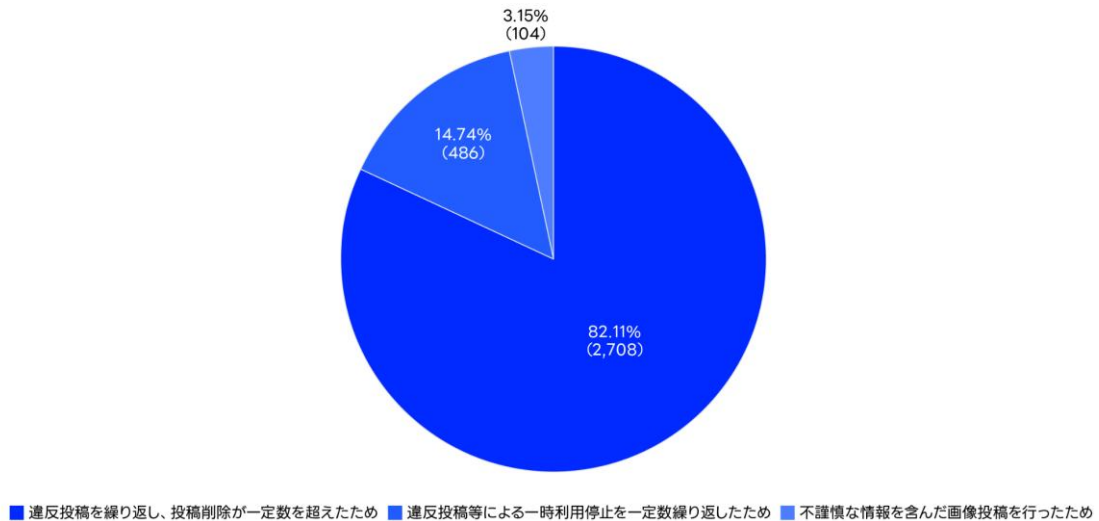
なお、上記のとおりコンテンツモデレーションとして投稿を削除した場合には、すべて削除の通知措置を講じていますが、サービスの仕様により生じた一律の削除等については、通知等の措置を講じないことについて正当な理由があるものとして、通知を行っておりません。具体的には、質問投稿又はベストアンサーに選ばれた投稿の削除に伴い当該質問投稿に対する回答や当該ベストアンサーに対応する質問投稿について自動的に削除される場合、質問が投稿されてから一定期間経過しても回答がつかず自動的に質問投稿が削除された場合、「投稿練習」をカテゴリ 1 に選択していた質問

¹⁷ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「文意不明」の構成比で調整しています。

投稿について一定期間経過後に削除される場合および当該質問投稿についていた回答投稿も削除される場合が該当します¹⁸。

(2) 投稿停止件数・投稿停止通知件数

2025年度の投稿停止件数は3,298件でした。投稿停止通知件数¹⁹は2,369件でした。投稿停止件数を投稿停止理由別にみると次のとおりです。



投稿停止理由	件数(件)	構成比(%)
違反投稿を繰り返し、投稿削除が一定数を超えたため	2,708	82.11
違反投稿等による一時利用停止を一定数繰り返したため	486	14.74
不謹慎な情報を含んだ画像投稿を行ったため	104	3.15
合計	3,298	100.00

なお、知恵袋では、AI等による自動での投稿停止は行っていません。

¹⁸ 各措置の詳細は下記をご確認ください。

<https://chiebukuro.yahoo.co.jp/topic/guide/rule/>

¹⁹ 投稿停止を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。知恵袋における投稿停止通知開始はWeb版：6月18日、アプリ版：6月23日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿停止件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を2025年7月～2026年3月として算出しています。

また、投稿停止通知件数を通知理由別にみると次のとおりです。

投稿停止通知理由	件数(件)	構成比(%)
違反投稿を繰り返し、投稿削除が一定数を超えたため	1,921	81.09
違反投稿等による一時利用停止を一定数繰り返したため	361	15.24
不謹慎な情報を含んだ画像投稿を行ったため	87	3.67
合計	2,369	100.00

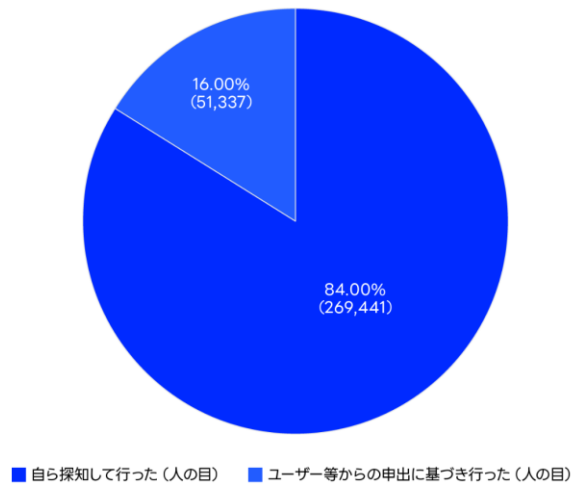
なお、Web版は6月18日、アプリ版は6月23日に通知の運用を開始した以降に投稿停止措置を行なった場合には、すべて投稿停止通知等の措置を講じています。

3. 削除・投稿停止の端緒別の状況

知恵袋では、違反報告フォームを設け、利用のルールに違反すると思われる投稿について、ユーザーからの情報を幅広く受け付けており、違反報告があった投稿の全件について専門チームのスタッフが違反の有無を判定しています。また、AI等と専門チームのスタッフによる「人の目」を組み合わせ、自ら違反を探知しています。

このように、投稿の削除はユーザー等からの違反報告を受けて行う場合²⁰とLINEヤフー自らが探知して行う場合があります、この端緒の別について2025年度の状況は次のとおりです。

²⁰ 「1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況」で公表した削除件数および「8. オンラインフォームの受付・対応状況」で公表した削除件数も含んでいます。



端緒	件数(件)	構成比(%)
自ら探知して行った(人の目)	269,441	84.00
ユーザー等からの申出に基づき行った(人の目)	51,337	16.00
合計	320,778	100.00

なお、知恵袋ではユーザーからは投稿の削除に関する違反報告のみを受け付けており、投稿停止措置については、全件、LINE ヤフー自らの探知により行っています。

4. ユーザーからの違反報告に関するデータ

(1) ユーザーからの違反報告の状況

2025年度のユーザーからの違反報告件数²¹は976,709件²²でした。

ユーザーからの違反報告件数を報告理由別にみると次のとおりです。

²¹ 1件の投稿に対し複数の違反報告があった場合は、延べ数として計上しています。以下、他サービスにおいても同様です。

²² 参考として、少なくとも1件以上違反報告があった投稿の数は、961,836件でした。

ユーザーが選択した報告理由	件数(件)	割合 ²³ (%)
荒らし行為	274,762	28.15
誹謗中傷・不快投稿等	188,152	19.26
文意不明	174,671	17.88
偽・誤情報	55,129	5.64
自作自演・印象煽動	40,638	4.16
セキュリティリスク	37,005	3.79
差別・ヘイト	36,491	3.74
不謹慎	32,756	3.35
わいせつ・暴力・過激描写	25,376	2.60
商用利用	18,983	1.94
法令違反	17,505	1.79
権利侵害	17,195	1.76
不適切なプロフィール	13,330	1.36
勧誘・募集・誘導	13,010	1.33
なりすまし	9,180	0.94
個人情報	8,975	0.92
危害予告・示唆	5,878	0.60
児童ポルノ	5,533	0.57
出会い目的	2,140	0.22
合計	976,709	100.00

(2) ユーザーからの違反報告に関する対応状況

前述のとおり、ユーザーから少なくとも1件以上違反報告があった投稿の全件について専門チームのスタッフが違反の有無を判定しています。判定の結果、削除に至った投稿の件数及び至らなかった投稿の件数、それぞれの判定理由は次のとおりです。

判定の結果	件数(件)	構成比(%) ²⁴
-------	-------	----------------------

²³ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「荒らし行為」の構成比で調整しています。

²⁴ ()内は各小計に対する構成比です。

削除に至った(理由別)	51,337	5.34
誹謗中傷・不快投稿等	17,405	(33.90)
文意不明	7,340	(14.30)
わいせつ・暴力・過激描写	5,873	(11.44)
児童ポルノ	3,352	(6.53)
勧誘・募集・誘導	3,160	(6.16)
商用利用	3,071	(5.98)
危害予告・示唆	2,142	(4.17)
荒らし行為	2,105	(4.10)
個人情報	1,999	(3.89)
法令違反	1,884	(3.67)
出会い目的	1,083	(2.11)
差別・ヘイト	958	(1.87)
不謹慎	537	(1.05)
プロフィール削除(理由不明)	144	(0.28)
権利侵害	94	(0.18)
セキュリティリスク	35	(0.07)
偽・誤情報	23	(0.04)
営業妨害	9	(0.02)
なりすまし	6	(0.01)
自作自演・印象煽動	4	(0.01)
その他	113	(0.22)
削除に至らなかった(理由別)	910,499	94.66
情プラ法第 26 条第 1 項所定の削除基準に該当しなかったため	910,499	(100.00)
合計	961,836	100.00

また、LINE ヤフーでは違反報告を受けてから削除までの所要時間を自己評価として公表しております。削除に至った投稿に対する違反報告件数²⁵は 39,482 件でした。違反報告ごとの、受理から削除までの所要時間は次のとおりです。

所要時間	件数(件)	構成比(%)
2 時間未満	38,680	97.97
2-8 時間未満	743	1.88

²⁵ プロフィール削除に対する違反報告は除外し自己評価を実施しています。

8-24 時間未満	59	0.15
24 時間以上	0	0.00
合計	39,482	100.00

このように、2 時間未満での削除が多く、迅速に対応ができています。

5. LINE ヤフー自らが探知して行った削除²⁶

知恵袋においては、24 時間 365 日、AI 等と専門チームのスタッフによる「人の目」の組み合わせにより違反投稿を探知しています。具体的には、AI モデルを用いて違反の蓋然性が高い投稿を探知し「人の目」による審査フローに移しているほか、特に対応の必要性が高いテーマを定める等して専門チームのスタッフによる積極的な巡回パトロールも行っています。

なお、最終的な送信防止措置の判断はすべて人の目で行っており、知恵袋では AI モデルを用いた自動削除は行っていません。

LINE ヤフー自らが探知して行った投稿削除数を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比(%)
文意不明	76,563	28.43
わいせつ・暴力・過激描写	49,685	18.44
誹謗中傷・不快投稿等	44,818	16.63
商用利用	39,077	14.50
荒らし行為	21,152	7.85
勧誘・募集・誘導	10,864	4.03
危害予告・示唆	7,474	2.77
法令違反	6,992	2.60
出会い目的	5,102	1.89
差別・ヘイト	2,940	1.09

²⁶ 2024 年度は、「1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況」で公表していた削除件数も「5. LINE ヤフー自らが探知して行った削除」に含めていましたが、2025 年度より「4. ユーザーからの違反報告に関するデータ」にて集計するほか、その内訳を「1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況」で公表します。以下、他サービスにおいても同様です。

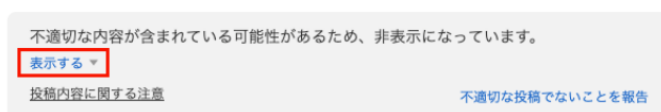
個人情報	2,213	0.82
不謹慎	1,542	0.57
児童ポルノ	568	0.21
セキュリティリスク	210	0.08
偽・誤情報	82	0.03
権利侵害	26	0.01
自作自演・印象煽動	2	0.00
なりすまし	1	0.00
その他 ²⁷	130	0.05
合計	269,441	100.00

6. 投稿の非表示措置

知恵袋では、AIモデルにより利用のルールに違反する蓋然性が高いと判定された投稿について不適切な投稿として非表示措置を行うことがあります。これは、知恵袋が採用している「低品質投稿判定モデル」が個別の投稿についてスコアを付与し、スコアが一定の閾値以上となった投稿について、自動的に投稿の非表示措置を行っているものです。なお、投稿の削除とは異なり、ユーザーが「表示する」ボタンを押下した場合には投稿の内容が表示されます。

▼非表示の状態

「表示する」を押すと、回答を確認できます。



- 非表示措置について

<https://support.yahoo-net.jp/PccChiebukuro/s/article/H000008087>

²⁷ すべて6月以前の件数となります。

2025年度においてAIにより自動的に非表示措置が行われた投稿数²⁸は1,181,492件(月平均98,457.7件)であり、2024年度の約1,452,000(月平均約121,000件)から減少しています。なお、これを投稿件数に対する比率としてみると2.08%であり、こちらも2024年度の2.41%からやや減少しています。

7. 異議申立ての状況

削除や投稿停止措置に対して疑問・意見等があるユーザーからは、ヘルプ・問い合わせページのフォームにより問い合わせを受け付けています。

(1) 削除に対する異議申立て

2025年度における削除に対する異議申立て件数²⁹と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数³⁰は、次のとおりです。

項目	件数(件)
削除に対する異議申立て(うち削除がAI等によるもの ³¹)	266(0)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち削除がAI等によるもの)	35(0)

2025年度において投稿削除に対する異議申立ての件数は266件(月平均22.2件)であり、投稿削除に対する異議申立ての割合³²は0.08%です。

(2) 投稿停止に対する異議申立て

²⁸ 非表示措置が実施された後に投稿者自らにより削除されたものも含まれます。

²⁹ 問い合わせ内容は、明確に個別の措置の撤回を求める内容に限定しており、削除の理由を問うもの等は含みません。以下、他サービスにおいても同様です。

³⁰ 撤回は、再度の判定の結果、措置当時の判断が誤りであったと判断したものを指し、投稿の復旧を伴う場合に限りません。以下、他サービスにおいても同様です。

³¹ 知恵袋では、AI等による自動での削除は行っていません。

³² 投稿削除措置件数を分母、投稿削除に関する問い合わせ件数を分子として計算しています。以下、他サービスにおいても同様です。

2025 年度における投稿停止に対する異議申立て件数³³と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数³⁴は、次のとおりです。

項目	件数(件)
投稿停止に対する異議申立て(うち投稿停止が AI 等によるもの ³⁵)	54(0)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち投稿停止が AI 等によるもの)	1(0)

2025 年度において投稿停止に対する問い合わせの件数は 54 件(月平均 4.5 件)であり、投稿停止に対する異議申立ての割合³⁶は 1.64%でした。

8. オンラインフォームの受付・対応状況

知恵袋は、2025 年 6 月 11 日より、「情報流通プラットフォーム対処法に関する権利侵害投稿削除申出フォーム」(以下、「オンラインフォーム」といいます)において権利侵害投稿に対する削除請求を受け付けています³⁷。以下のデータは、同日から 2026 年 3 月末日までの期間で抽出しています。

(1) 受付状況

申出の受付件数³⁸を申出理由別³⁹にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)

³³ 問い合わせ内容は、明確に個別の措置の撤回を求める内容に限定しており、アカウント停止措置を受けているかどうかの確認等は含みません。以下、他サービスにおいても同様です。

³⁴ 撤回は、再度の判定の結果、措置当時の判断が誤りであったと判断したものを指し、投稿停止の解除を伴う場合に限りません。以下、他サービスにおいても同様です。

³⁵ 知恵袋では、AI 等による自動での投稿停止措置は行っていません。

³⁶ 投稿停止措置件数を分母、投稿停止に関する問い合わせ件数を分子として計算しています。なお、投稿停止措置は、当該年度以前に行われていた場合も含むため、当該年度に行われた投稿停止措置に対する問い合わせ件数の割合とは誤差が生じます。以下、他サービスにおいても同様です。

³⁷ LINE ヤフーでは、情プラ法第 22 条所定の受付フォームとして下記を設置しています。

<https://support.yahoo-net.jp/formly/s/diridp-act>

³⁸ 対象投稿が特定不可の場合、権利者ご自身ではなく第三者からの申出の場合等は、情プラ法第 22 条第 1 項に定める申出に該当しないため集計対象外です。なお、対象期間において、特定不可となった案件は 40 件でした。

³⁹ 申出理由別の件数は、申出者が複数の理由を選択した場合には、それぞれの理由ごとに延べ数として計上しています。投稿数やフォームの入信件数とは必ずしも一致しません。以下、他サービスも同様です。

名誉権	192	25.50
営業上の利益	123	16.33
名誉感情	94	12.48
プライバシー	86	11.42
肖像権	65	8.63
私生活の平穩	63	8.37
氏名権	46	6.11
著作権侵害および著作隣接権	37	4.91
パブリシティ権	18	2.39
その他	29	3.85
合計	753	100.00

(2) 一定期間内⁴⁰の対応状況

一定期間内に削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ⁴¹ (%)
名誉権	30	27.54
名誉感情	27	24.77
プライバシー	14	12.84
氏名権	13	11.93
私生活の平穩	8	7.34
営業上の利益	6	5.50
肖像権	4	3.67
パブリシティ権	2	1.83
著作権侵害および著作隣接権	2	1.83
その他	3	2.75
合計	109	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。なお、削除しない旨を通知したものの中には、LINE ヤフーが申出を確認した

⁴⁰ 一定期間とは、情プラ法施行規則第 16 条所定の期間、つまり 7 日を意味します。以下、他サービスも同様です。

⁴¹ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「名誉権」の構成比で調整しています。

時点で既に対象投稿が削除済みあるいは閲覧できない状態になっていた場合を含みません⁴²。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	6	24.00
私生活の平穩	6	24.00
営業上の利益	4	16.00
名誉感情	3	12.00
プライバシー	2	8.00
肖像権	1	4.00
氏名権	1	4.00
著作権侵害および著作隣接権	1	4.00
その他	1	4.00
合計	25	100.00

なお、判断結果を通知できなかったもの⁴³は、オンラインフォームに入力されたメールアドレスが不達であった場合のみでした。

(3) 一定期間を超えた場合の対応状況

一定期間を超えて削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	34	32.08
営業上の利益	33	31.13
プライバシー	12	11.32
私生活の平穩	10	9.43
肖像権	6	5.66
名誉感情	5	4.72
氏名権	3	2.83

⁴² 一定期間内の対応と一定期間を超えた場合の対応とをあわせて、削除済み等の場合は1件でした。

⁴³ 「通知しないことについて正当な理由があるとき」(情プラ法第25条第1項ただし書)に該当します。

著作権侵害および著作隣接権	1	0.94
その他	2	1.89
合計	106	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ⁴⁴ (%)
名誉権	76	25.24
営業上の利益	51	16.94
名誉感情	35	11.63
肖像権	35	11.63
プライバシー	31	10.30
私生活の平穏	21	6.98
氏名権	19	6.31
著作権侵害および著作隣接権	9	2.99
パブリシティ権	8	2.66
その他	16	5.32
合計	301	100.00

(4) 第 25 条第 2 項第 1 号～第 3 号の対応状況

一定期間を超えたものは、すべて、侵害情報調査専門員に調査を行わせた(法第 25 条第 2 項第 2 号)案件で、同項第 1 号及び同項第 3 号に該当するものではありませんでした。申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	145	27.10
営業上の利益	109	20.37
プライバシー	59	11.03

⁴⁴ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「名誉権」の構成比で調整しています。

名誉感情	50	9.35
肖像権	50	9.35
私生活の平穩	40	7.48
著作権侵害および著作隣接権	28	5.23
氏名権	25	4.67
パブリシティ権	10	1.87
その他	19	3.55
合計	535	100.00

【Yahoo!ファイナンス掲示板編】

Yahoo!ファイナンス掲示板について

1. Yahoo!ファイナンス掲示板の提供目的

Yahoo!ファイナンスの掲示板(以下「ファイナンス掲示板」)は、株式、為替、FXなどの話題について、ユーザーが相互に情報交換を行うことを目的として提供しています。

ファイナンス掲示板の仕組みは、銘柄別の掲示板とそれ以外の掲示板で異なります。銘柄別の掲示板は、1銘柄1スレッドで構成されており、ユーザーがスレッドを作成することはできません⁴⁵。一方、「株式雑談」「FX、為替雑談」のカテゴリでは、ユーザーがスレッドを作成することができます⁴⁶。

⁴⁵ 上場廃止になった企業は、「上場廃止・償還済み」カテゴリに移動します。ただし、一定期間後予告なく削除する場合があります。

⁴⁶ ただし、スレッドの作成はパソコン版又はアプリ版のみ可能であり、スマートフォン Web 版からは行えません。

2. 禁止行為について

ファイナンス掲示板では、禁止行為を定め、専用のページを設けてユーザーに対し周知を行っています。なお、2025年度において、法第26条第3項に基づく基準の変更の対象となった情報は発生しませんでした。

- **【掲示板】禁止行為、投稿に注意が必要な内容について**

<https://support.yahoo-net.jp/PccFinance/s/article/H000011273>

ファイナンス掲示板には、株式、為替、FXなど金融商品に関する投稿が行われることから、ユーザーに対し、掲示板で得られた情報のみを信頼したり過度に信用して投資決定を行うのではなく、信頼できる機関を通じて事実確認を行うことを推奨しています。

また、「風説の流布」や「相場操縦」といった金融商品取引法で禁止されている行為について注意を記載するとともに、証券取引等監視委員会への情報提供ページへのリンクを掲載し、法令に違反していると判断される投稿について同委員会への報告を呼び掛けています。

- **Yahoo!ファイナンスの掲示板について**

<https://support.yahoo-net.jp/PccFinance/s/article/H000011280>

3. 禁止行為に対する違反への対応について

ファイナンス掲示板の禁止行為に該当すると判断された投稿について削除を行うとともに、一定の場合にはファイナンス掲示板への投稿停止措置を行うことがあります。

さらに、投稿停止措置を受けたユーザーに対しては、Yahoo! JAPAN ID 登録情報である携帯電話番号を照合し、利用停止措置を受けたユーザーと同じ電話番号を登録しているアカウントからの投稿を制限しています。これにより、投稿停止となったユーザーがIDを取得し直して違反行為を繰り返すことを防止しています。

4. 2025年度におけるコンテンツモデレーションの状況⁴⁷

1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況

ファイナンス掲示板における2025年度の対応状況は次のとおりです。

(1) 裁判外の請求

削除請求投稿件数：1,025件 (申出理由の別：人格権 1,025件)	
	削除に至った投稿件数：5件 (申出理由の別：人格権 5件) 削除に至らなかった投稿件数：1,020件 (申出理由の別：人格権 1,020件)
開示請求投稿件数：1,053件 (申出理由の別：人格権 1,053件)	
	開示に至った投稿件数：0件 開示に至らなかった投稿件数：1,053件 (申出理由の別内訳：人格権 1,053件)

(2) 公的機関からの要請

2025年度においては、公的機関からの削除要請はありませんでした。

(3) 裁判上の請求(訴訟)

削除請求投稿件数：8件 (申立て理由の別：人格権 8件)	
削除の判決または決定があった投稿件数：3件 (申立て理由の別：人格権 3件)	

⁴⁷ ファイナンス掲示板は日本国内の利用者を主たる対象としたサービスであるため、以下のすべての数値は日本の利用者に関する数値とみなしています。

開示請求投稿件数：193 件
(申立て理由の別：人格権 192 件、知財権 1 件)
開示の判決または決定があった投稿件数：24 件
(申立て理由の別：人格権 24 件)

なお、裁判所から削除又は開示を行うよう判決又は決定があった場合は、すべてこれに従い削除または開示を行いました。

2. 削除と投稿停止の実施状況および削除と投稿停止の通知状況の概要

(1) 投稿件数と削除・削除通知件数

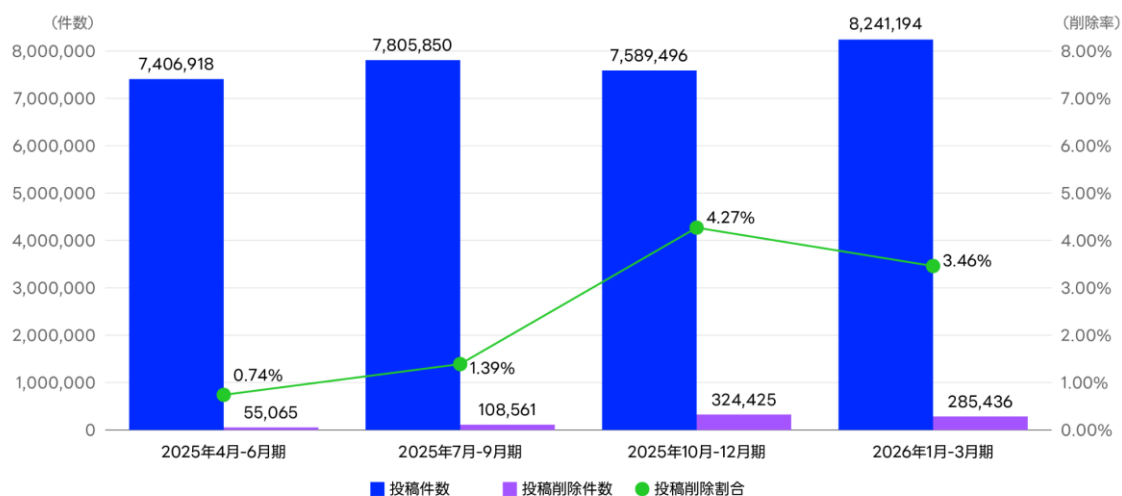
ファイナンス掲示板における 2025 年度の投稿件数⁴⁸は **31,043,458 件(月平均 2,586,954.8 件)**でした。また、投稿削除件数⁴⁹は **773,487 件(月平均 64,457.3 件)**でした。大規模 PF に課される義務への対応として期中より集計を開始した削除通知件数⁵⁰は **747,084 件(月平均 67,916.7 件)**でした。投稿数に対する投稿削除件数の割合についてみると、2025 年度は **2.49%**でした。

[ファイナンス掲示板]四半期ごとの投稿件数と投稿削除・投稿削除通知件数および投稿削除割合

⁴⁸ 投稿数をカウントしています。プロフィール設定数は含みません。

⁴⁹ 投稿削除およびプロフィールリセット数の合算値となります。

⁵⁰ 削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。ファイナンス掲示板における投稿削除通知開始は 4 月 21 日のため、同日以前を除き、通知件数は削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 5 月～2026 年 3 月として算出しています。



四半期	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除通知件数(件)	削除割合 (%)
4-6 月期 (月平均)	7,406,918 (2,468,972.7)	55,065 (18,355.0)	28,662 (14,331.0)	0.74
7-9 月期 (月平均)	7,805,850 (2,601,950.0)	108,561 (36,187.0)	108,561 (36,187.0)	1.39
10-12 月期 (月平均)	7,589,496 (2,529,832.0)	324,425 (108,141.7)	324,425 (108,141.7)	4.27
1-3 月期 (月平均)	8,241,194 (2,747,064.7)	285,436 (95,145.3)	285,436 (95,145.3)	3.46
年度合計 (月平均)	31,043,458 (2,586,954.8)	773,487 ⁵¹ (64,457.3)	747,084 (67,916.7)	2.49

<参考>

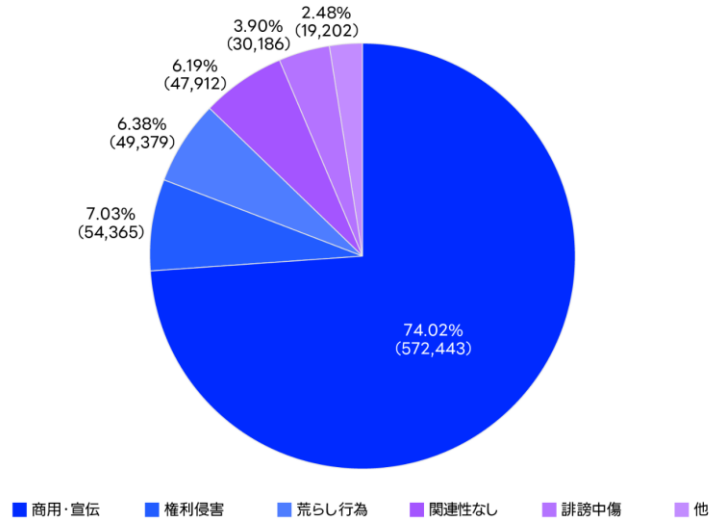
年度	投稿件数(件)	投稿削除件数(件) ⁵²	削除割合(%)
----	---------	-------------------------	---------

⁵¹ 2024 年度と比較して削除数が増加した背景としては、業者による投稿が疑われるような商用投稿が大幅に増えたことが理由と考えられます。

⁵² プロフィールリセット数は含んでいません。

2024 年度合計 (月平均)	29,415,652 件 (2,451,304.3 件)	487,773 (40,647.8 件)	1.65
--------------------	---------------------------------	-------------------------	------

投稿削除件数を削除理由別にみると次のとおりです。



削除理由	件数(うち AI 等による削除件数)(件)	構成比 ⁵³ (%)
商用・宣伝	572,443 (54,255)	74.02
権利侵害	54,365 (47,493)	7.03
荒らし行為	49,379 (43,680)	6.38
関連性なし	47,912	6.19
誹謗中傷	30,186	3.90
わいせつ・暴力	15,276 (7,886)	1.97
差別・ヘイト	1,512	0.20
不謹慎	1,270	0.16
個人情報	521	0.07
自殺・危害予告	281	0.04

⁵³ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「商用・宣伝」の構成比で調整しています。

法令違反	248	0.03
出会い目的	40	0.01
なりすまし	23	0.00
自作自演・印象煽動	22	0.00
セキュリティリスク	5	0.00
偽・誤情報	3	0.00
児童ポルノ	1	0.00
合計	773,487 (153,314)	100.00

また、削除通知件数⁵⁴を通知理由別にみると次のとおりです。

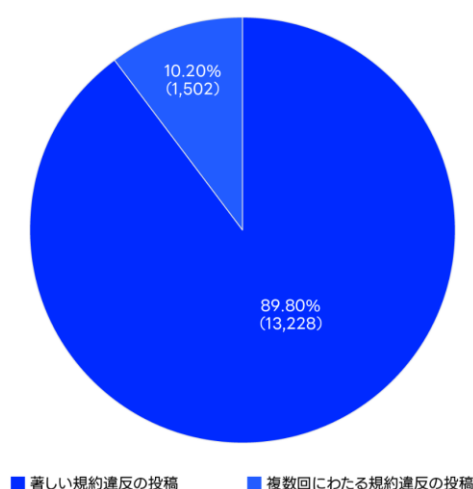
削除通知理由	件数(件)	構成比(%)
商用・宣伝	563,158	75.38
権利侵害	52,638	7.05
荒らし行為	44,373	5.94
関連性なし	42,917	5.74
誹謗中傷	27,048	3.62
わいせつ・暴力	13,508	1.81
差別・ヘイト	1,402	0.19
不謹慎	993	0.13
個人情報	488	0.07
自殺・危害予告	265	0.04
法令違反	205	0.03
出会い目的	36	0.00
なりすまし	23	0.00
自作自演・印象煽動	22	0.00
セキュリティリスク	5	0.00
偽・誤情報	2	0.00
児童ポルノ	1	0.00
合計	747,084	100.00

⁵⁴ 投稿削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。ファイナンス掲示板における削除通知開始は4月21日のため、同日以前を除き、通知件数は削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を2025年5月～2026年3月として算出しています。

なお、上記のとおりコンテンツモデレーションとして投稿を削除した場合には、すべて削除の通知措置を講じていますが、サービスの仕様により生じた一律の削除等については、通知等の措置を講じないことについて正当な理由があるものとして、通知を行っておりません。具体的には、保存期間超過による自動削除、削除済みのYahoo! JAPAN IDのプロフィール画像・表示名の変更、スレッド削除に伴い当該スレッドに付されたコメントが削除された場合、自動非表示(ミュート)機能による措置が該当します⁵⁵。

(2) 投稿停止件数・投稿停止通知件数

2025年度の投稿停止件数は14,730件でした。投稿停止通知件数⁵⁶は、14,369件でした。投稿停止件数を投稿停止理由別にみると次のとおりです。



投稿停止理由	件数(件)	構成比(%)
--------	-------	--------

⁵⁵ 各措置の詳細は下記をご確認ください。

<https://support.yahoo-net.jp/ScFinance/s/article/H000011273>

⁵⁶ 投稿停止を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。ファイナンス掲示板における投稿停止通知開始は4月21日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿停止件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を2025年5月～2026年3月として算出しています。

著しい規約違反の投稿	13,228	89.80
複数回にわたる規約違反の投稿	1,502	10.20
合計	14,730	100.00

なお、ファイナンス掲示板では、AI 等による自動での投稿停止は行っていません。

また、投稿停止通知件数を通知理由別にみると次のとおりです。

投稿停止通知理由	件数(件)	構成比(%)
著しい規約違反の投稿	13,074	90.99
複数回にわたる規約違反の投稿	1,295	9.01
合計	14,369	100.00

なお、上記のとおりコンテンツモデレーションとして投稿を削除した場合には、すべて削除の通知措置を講じていますが、サービスの仕様により生じた一律の削除等については、通知等の措置を講じないことについて正当な理由があるものとして、通知を行っておりません。具体的には、電話番号のブロック対応による投稿停止が該当します⁵⁷。

3. 削除・投稿停止の端緒別の状況

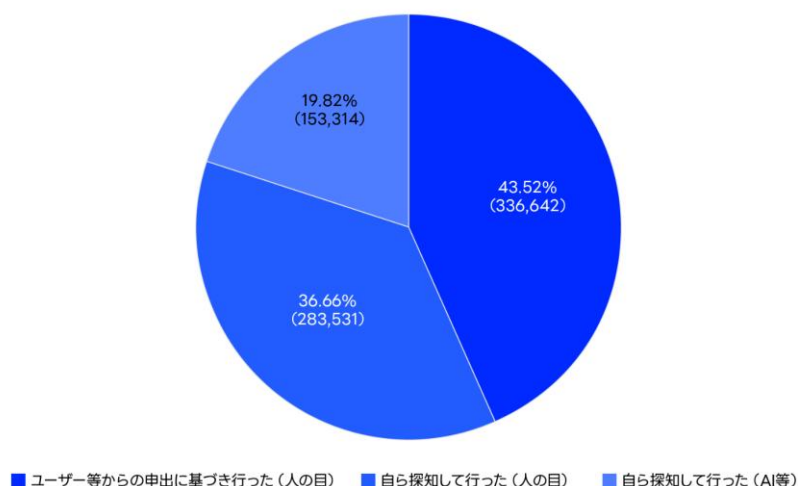
ファイナンス掲示板では、投稿ごとに違反報告フォームを設け、禁止事項に該当し、利用規約に違反すると思われる投稿についてユーザーからの情報を幅広く受け付けています。一方で、違反報告がない投稿についても積極的な探知に努めており、専門チームのスタッフがコメント欄を積極的に巡回して目視確認しています。

⁵⁷ 各措置の詳細は下記をご確認ください。

<https://support.yahoo-net.jp/ScFinance/s/article/H000011273>

なお、「電話番号のブロック対応」とは、一度利用停止の措置を受けた利用者の登録電話番号と同一の番号を登録しているアカウントについて、投稿を停止する措置になります。

このように、投稿の削除はユーザー等からの違反報告を受けて行う場合⁵⁸と LINE ヤフー自らが探知して行う場合があり、この端緒の別について 2025 年度の状況は次のとおりです。



端緒	件数(件)	構成比(%)
ユーザー等からの申出に基づき行った(人の目)	336,642	43.52
自ら探知して行った(人の目)	283,531	36.66
自ら探知して行った(AI 等)	153,314	19.82
合計	773,487	100.00

なお、ファイナンス掲示板ではユーザーからは投稿の削除に関する違反報告のみを受け付けており、投稿停止措置については、全件、LINE ヤフー自らの探知により行っています。

4. ユーザーからの違反報告に関するデータ

(1) ユーザーからの違反報告の状況

⁵⁸ 「1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況」で公表した削除件数および「7. オンラインフォームの受付・対応状況」で公表した削除件数も含んでいます。

2025年度の利用者からの違反報告件数は、1,234,510件でした。

利用者からの違反報告件数を報告理由別にみると次のとおりです。

ユーザーが選択した報告理由	件数(件)	割合 ⁵⁹ (%)
商用・宣伝	286,406	23.19
誹謗中傷	259,438	21.02
法令違反	128,113	10.38
荒らし行為	90,927	7.37
関連性なし	74,056	6.00
偽・誤情報	72,802	5.90
自作自演・印象煽動	43,357	3.51
差別・ヘイト	39,712	3.22
不謹慎	32,853	2.66
わいせつ・暴力	26,587	2.15
権利侵害	25,512	2.07
個人情報	23,345	1.89
セキュリティリスク	19,378	1.57
なりすまし	12,907	1.05
自殺・危害予告	10,798	0.87
出会い目的	8,469	0.69
児童ポルノ	5,965	0.48
その他	73,885	5.98
合計	1,234,510 ⁶⁰	100.00

(2) ユーザーからの違反報告に関する対応状況

前述のとおり、ユーザーから少なくとも1件以上違反報告があった投稿の全件について、専門チームのスタッフが違反の有無を判定しています。判定の結果、削除に至った投稿の件数及び至らなかった投稿の件数、それぞれの判定理由は次のとおりです。

⁵⁹ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「商用・宣伝」の構成比で調整しています。

⁶⁰ 参考として、少なくとも1件以上違反報告があった投稿の数は、639,127件でした。

判定の結果	件数(件)	構成比 ⁶¹ (%)
削除に至った(理由別)	336,642	52.67
商用・宣伝	240,599	(71.49)
関連性なし	46,053	(13.68)
誹謗中傷	27,305	(8.11)
わいせつ・暴力	7,343	(2.18)
権利侵害	6,023	(1.79)
荒らし行為	5,699	(1.69)
差別・ヘイト	1,295	(0.38)
不謹慎	1,255	(0.37)
個人情報	477	(0.14)
自殺・危害予告	276	(0.08)
法令違反	242	(0.07)
出会い目的	39	(0.01)
自作自演・印象煽動	22	(0.01)
なりすまし	6	(0.00)
セキュリティリスク	5	(0.00)
偽・誤情報	2	(0.00)
児童ポルノ	1	(0.00)
削除に至らなかった(理由別)	302,485	47.33
違反報告を LINE ヤフーが確認した時点で投稿者自身が対象投稿を削除済みだったため	289,278	(95.64)
情プラ法第 26 条第 1 項所定の削除基準に該当しなかったため	13,207	(4.36)
合計	639,127	100.00

また、LINE ヤフーでは違反報告を受けてから削除までの所要時間を自己評価として公表しております。削除に至った投稿に対する違反報告件数は 581,278 件⁶²でした。違反報告ごとの、受理から削除までの所要時間は次のとおりです。

所要時間	件数(件)	構成比(%)
2 時間未満	492,147	84.67

⁶¹ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「商用・宣伝」の構成比で調整しています。また、()内は各小計に対する構成比です。

⁶² ファイナンス掲示板の自己評価では 7 月以降の違反報告を対象に算出しています。

2-8 時間未満	54,691	9.41
8-24 時間未満	25,314	4.35
24 時間以上	9,126	1.57
合計	581,278	100.00

このように、2 時間未満での削除が多く、迅速に対応ができています。

5. LINE ヤフー自らが探知して行った削除

ファイナンス掲示板では、AI 等により違反が明白な投稿の自動削除を行っています。また、違反報告がない投稿についても積極的な探知に努めており、24 時間 365 日専門チームのスタッフがコメント欄を積極的に巡回して目視確認し、1 件 1 件「人の目」の審査により、違反投稿であるかどうかの判定を行っています。

LINE ヤフー自らが探知して行った投稿削除数を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比 ⁶³ (%)
商用・宣伝	331,844	75.96
権利侵害	48,342	11.07
荒らし行為	43,680	10.00
わいせつ・暴力	7,933	1.82
誹謗中傷	2,881	0.66
関連性なし	1,859	0.43
差別・ヘイト	217	0.05
個人情報	44	0.01
なりすまし	17	0.00
不謹慎	15	0.00
法令違反	6	0.00
自殺・危害予告	5	0.00
出会い目的	1	0.00

⁶³ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「商用・宣伝」の構成比で調整しています。

偽・誤情報	1	0.00
合計	436,845	100.00

このうち、AI等による自動削除の件数を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比(%)
商用・宣伝	54,255	35.39
権利侵害	47,493	30.98
荒らし行為	43,680	28.49
わいせつ・暴力	7,886	5.14
合計	153,314	100.00

6. 異議申立ての状況

削除や投稿停止措置に対して疑問・意見等があるユーザーから、ヘルプ・問い合わせページのフォームにより問い合わせを受け付けています。

(1) 削除に対する異議申立て

削除に対する異議申立て件数と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

項目	件数(件)
削除に対する異議申立て(うち削除がAI等によるもの)	33(19)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち削除がAI等によるもの)	10(10)

2025年度において投稿削除に対する異議申立ての件数は33件(月平均2.8件)であり、投稿削除に対する異議申立ての割合は0.004%です。

(2) 投稿停止に対する異議申立て

2025年度における投稿停止に対する異議申立て件数と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

項目	件数(件)
----	-------

投稿停止に対する異議申立て(うち投稿停止が AI 等によるもの ⁶⁴)	105(0)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち投稿停止が AI 等によるもの)	0(0)

2025 年度において投稿停止に対する異議申立ての件数は 105 件(月平均 8.8 件)であり、投稿停止に対する異議申立ての割合は 0.71%でした。

7. オンラインフォームの受付・対応状況

ファイナンス掲示板は、アプリ版は 2025 年 6 月 2 日より、Web 版は 6 月 3 日より、オンラインフォームにおいて権利侵害投稿に対する削除請求を受け付けています。以下のデータは、同日から 2026 年 3 月末日までの期間で抽出しています。

(1) 受付状況

申出の受付件数⁶⁵を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	253	22.25
名誉感情	208	18.29
プライバシー	156	13.72
私生活の平穏	147	12.93
肖像権	85	7.48
氏名権	68	5.98
営業上の利益	60	5.28
著作権侵害および著作隣接権	36	3.17
パブリシティ権	28	2.46
その他	96	8.44
合計	1,137	100.00

(2) 一定期間内の対応状況

⁶⁴ ファイナンス掲示板では、AI 等による自動での投稿停止は行っていません。

⁶⁵ 対象投稿が特定不可の場合、権利者ご自身ではなく第三者からの申出の場合等は、情プラ法第 22 条第 1 項に定める申出に該当しないため集計対象外です。なお、対象期間において、特定不可となった案件は 41 件でした。

一定期間内に削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	32	29.36
名誉感情	27	24.77
プライバシー	16	14.68
私生活の平穩	9	8.26
パブリシティ権	6	5.50
著作権侵害および著作隣接権	6	5.50
氏名権	4	3.67
営業上の利益	3	2.75
肖像権	1	0.92
その他	5	4.59
合計	109	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。なお、削除しない旨を通知したものの中には、LINE ヤフーが申出を確認した時点で既に対象投稿が削除済みあるいは閲覧できない状態になっていた場合を含みます⁶⁶。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
プライバシー	75	18.25
名誉感情	67	16.30
名誉権	66	16.06
私生活の平穩	64	15.57
肖像権	50	12.17
氏名権	49	11.92
著作権侵害および著作隣接権	7	1.70
パブリシティ権	6	1.46
営業上の利益	6	1.46
その他	21	5.11
合計	411	100.00

⁶⁶ 一定期間内の対応と一定期間を超えた場合の対応とをあわせて、削除済み等の場合は104件でした。

なお、判断結果を通知できなかったもの⁶⁷は、オンラインフォームに入力されたメールアドレスが不達であった場合のみでした。

(3) 一定期間を超えた場合の対応状況

一定期間を超えて削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	7	25.00
名誉感情	7	25.00
プライバシー	7	25.00
私生活の平穩	7	25.00
合計	28	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ⁶⁸ (%)
名誉権	94	21.95
名誉感情	81	18.93
私生活の平穩	59	13.79
プライバシー	51	11.92
営業上の利益	30	7.01
肖像権	26	6.07
著作権侵害および著作隣接権	14	3.27
氏名権	11	2.57
パブリシティ権	8	1.87
その他	54	12.62

⁶⁷ 「通知しないことについて正当な理由があるとき」(情ブラ法第 25 条第 1 項ただし書)に該当します。

⁶⁸ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「名誉権」の構成比で調整しています。

合計	428	100.00
----	-----	--------

(4) 第 25 条第 2 項第 1 号～第 3 号の対応状況

一定期間を超えたものは、すべて、侵害情報調査専門員に調査を行わせた(法第 25 条第 2 項第 2 号)案件で、同項第 1 号及び同項第 3 号に該当するものではありませんでした。申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ⁶⁹ (%)
名誉権	151	25.73
名誉感情	110	18.74
私生活の平穏	69	11.75
プライバシー	61	10.39
営業上の利益	50	8.52
肖像権	32	5.45
著作権侵害および著作隣接権	22	3.75
パブリシティ権	15	2.56
氏名権	12	2.04
その他	65	11.07
合計	587	100.00

⁶⁹ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「名誉権」の構成比で調整しています。

【LINE オープンチャット編】

LINE オープンチャットについて

1. LINE オープンチャットの提供目的

LINE オープンチャット(以下「オープンチャット」)はユーザーが共通点でつながることができるサービスで、ユーザーはLINEの「友だち」になっていないユーザーとトークをしたり、興味関心事や日常生活に密着した話題について情報を得たり、ユーザー同士のコミュニケーションを楽しむことができます。

オープンチャットでは、トークルームへの招待がURLやQRコードの共有で簡単にでき、LINEの友だち追加をしなくても、グループトークでコミュニケーションを楽しめます。グループトークには最大5,000人まで参加できます⁷⁰。また、ライブトーク機能ではテキストだけでなく、音声でもメンバーとリアルタイムでコミュニケーションが可能です。

2. 禁止行為について

オープンチャットへの投稿に当たっては、オープンチャット禁止規定が適用されます。

- **オープンチャット禁止規定**

https://openchat-jp.line.me/other/prohibited_activities

オープンチャット禁止規定については、偽・誤情報や誹謗中傷等の問題投稿を巡る社会情勢やSNSトレンド、各国の文化、利用シーンやニーズ等の変化を踏まえ、継続的に見直しを行っています。見直しに際しては、権利侵害の防止と投稿者の表現の自由の双方に配慮し、バランスの取れた基準となるよう、関係部門が連携して、禁止規

⁷⁰ 管理者が拡張申請することで、更に定員数を拡張することも可能です。

定の改定要否や内容を検討しています。なお、法第 26 条第 3 項に基づく基準の変更の対象となった情報は、2025 年度においては発生しませんでした。

なお、オープンチャット禁止規定を分かりやすく解説した安心・安全ガイドラインを公表しています。

- **安心・安全ガイドライン**

<https://openchat-jp.line.me/other/guideline>

3. 禁止行為違反への対応について

オープンチャット禁止規定への違反と判定された投稿等については削除等の措置を行っています。また、違反行為を繰り返すユーザーの LINE 個人アカウント(以下「個人アカウント」といいます)に対して、オープンチャットサービスにおける投稿停止措置⁷¹や個人アカウントの停止・削除を行うことがあります。

4. 安心安全にご利用いただくためのコンテンツ

すべてのユーザーにサービスを安心安全にご利用いただくため、LINE Safety Center-LINE の安心安全ガイドを用意し、各サービスの投稿ガイドラインや、保護者や教育関係者に向けて未成年者がトラブルに巻き込まれることを防ぐための情報を提供しています。

- **LINE の安心安全ガイド**

<https://guide.line.me/ja/safety/>

5. 新規・更新トークルームの表示制限

オープンチャットでは、新たに作成されたトークルームおよび名称等の情報が更新されたトークルームについて、オープンチャットのメイン画面や検索エンジンの検索

⁷¹ 「投稿停止措置」とは、個人アカウントの投稿機能を一時的または永久的に停止する措置をいいます。以下同様。

結果に一定時間表示されないよう制限を設け⁷²、安全で適切なコミュニティ運営に向け、ユーザーが安心して参加できる環境づくりを行っています。

6. 特に危険な悪用事例に対する監視体制の強化と注意喚起

オープンチャットは、コンテンツの悪用が原因となってユーザーへの危険や不利益、またユーザーによる法令違反や権利侵害が生じると想定される事例について、以下のトピックについて監視体制の強化とユーザーへの注意喚起を実施しました。2025年度は、ユーザー保護および法令に反する投稿や行為の助長を予防する観点から、以下のトピックについて監視体制の強化とユーザーへの注意喚起を実施しました。

- **未成年を中心とした過度なダイエット(摂食障害)**

<https://lin.ee/9syehb7j/gyjp>

- **オンラインギャンブルの取り締まり強化**

<https://lin.ee/eaOTs5T/gyjp>

- **アスリートへの誹謗中傷への注意喚起**

<https://lin.ee/DNDQ06B/gyjp>

また、オープンチャットでは、サービスの性質やユーザー層を踏まえ、青少年保護の取組みを強化しています。

- **オープンチャットにおける青少年保護の取組みについての公表**

<https://lin.ee/vdFMmIU/gyjp>

7. 2025年度におけるコンテンツモデレーションの状況

1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況

⁷² <https://notice2.line.me/SQUARE/web/document/notice?documentId=100010254&lang=ja>

オープンチャットにおける 2025 年度の対応状況は次のとおりです。

(1) 裁判外の請求⁷³

削除請求投稿件数：7 件 (申出理由の別：人格権 7 件)	
	削除に至った投稿件数：4 件 (申出理由の別：人格権 4 件) 削除に至らなかった投稿件数：3 件 (申出理由の別：人格権 3 件)
開示請求投稿件数：6 件 (申出理由の別：人格権 6 件)	
	開示に至った投稿件数：0 件 開示に至らなかった投稿件数：6 件 (申出理由の別：人格権 6 件)

(2) 公的機関からの要請

2025 年度においては、公的機関からの削除要請はありませんでした。

(3) 裁判上の請求(訴訟)

削除請求投稿件数：2 件 (申立て理由の別：人格権 2 件)	
削除の判決または決定があった投稿件数：0 件	
開示請求投稿件数：20 件 (申立て理由の別：人格権 20 件)	
開示の判決または決定があった投稿件数：8 件 (申立て理由の別：人格権 8 件)	

⁷³ 書面により削除・開示請求があったうち、請求の根拠となる権利が明示されていた件数を集計しています。なお、2024 年度においては LINE お問い合わせ窓口で請求があった件数を計上していましたが、情報流通プラットフォーム対処法に基づくオンラインでの請求窓口を実装したことを踏まえ、本年度より本項では書面による請求件数のみを計上しております。

なお、裁判所から開示を行うよう判決又は決定があった場合は、すべてこれに従い開示を行いました。

2. 削除と投稿停止の実施状況および削除と投稿停止の通知状況の概要⁷⁴

(1) 投稿件数と削除・削除通知件数

オープンチャットにおける 2025 年度の投稿件数⁷⁵は **5,858,549,402 件(月平均 488,212,450.2 件)**でした。また、削除件数⁷⁶は **9,283,047 件(月平均 773,587.3 件)**でした。大規模 PF に課される義務への対応として期中より集計を開始した削除通知件数⁷⁷は、**6,265,800 件(月平均 696,200.0 件)**でした。投稿数に対する投稿削除件数の割合についてみると、2025 年度は **0.16%**でした。

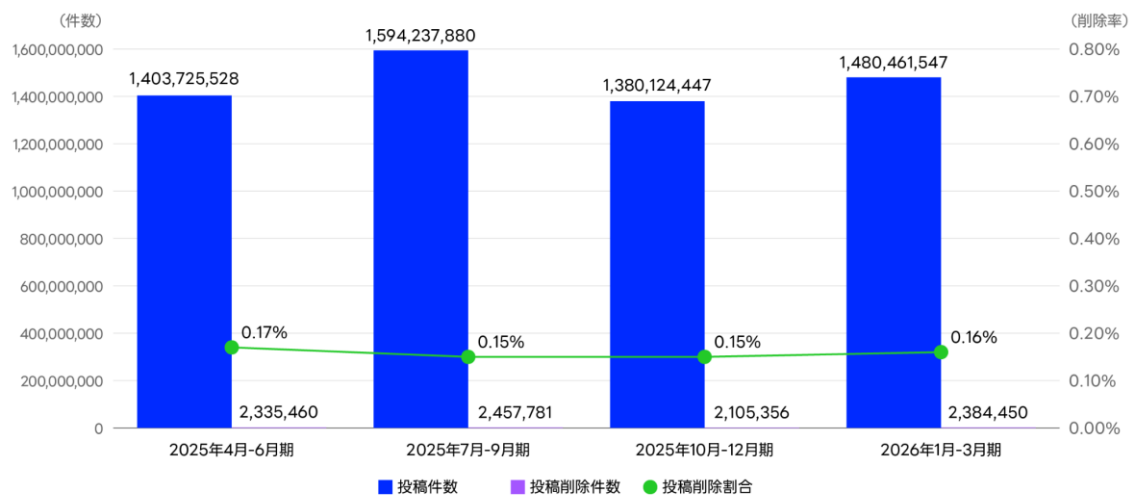
[オープンチャット] 四半期ごとの投稿件数と投稿削除・投稿削除通知件数および投稿削除割合

⁷⁴ 日本国内の電話番号を用いて登録された個人アカウントによって作成されたオープンチャットでの投稿が集計の対象となります。オープンチャットに関する以下の集計も特に注記のない限り同様です。

⁷⁵ トーク画面における投稿の他、ノート投稿およびそのコメント投稿やライブトーク数を含んでいます。参考値として、ルーム作成件数は、3,710,641 件です。

⁷⁶ 2025 年度からはユーザーネーム・プロフィール画像の削除、トークルームの削除、トークルーム名・説明・ルームメイン画像の削除に加え、ノート投稿やノート投稿に対するコメント非表示対応等も含めています。また、「荒らし行為」を理由とする削除については、日本国内の電話番号以外を用いて登録された個人アカウントによって作成されたオープンチャットにおける、日本国内の電話番号を用いて登録された個人アカウントに対する措置も含まれます。

⁷⁷ 削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。オープンチャットにおける投稿削除通知開始は 7 月 21 日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 7 月 29 日～2026 年 3 月として算出しています。



四半期	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除通知件数(件)	削除割合 (%)
4-6 月期 (月平均)	1,403,725,528 (467,908,509.3)	2,335,460 (778,486.7)	-	0.17
7-9 月期 (月平均)	1,594,237,880 (531,412,626.7)	2,457,781 (819,260.3)	1,775,994 (591,998.0)	0.15
10-12 月期 (月平均)	1,380,124,447 (460,041,482.3)	2,105,356 (701,785.3)	2,105,356 (701,785.3)	0.15
1-3 月期 (月平均)	1,480,461,547 (493,487,182.3)	2,384,450 (794,816.7)	2,384,450 (794,816.7)	0.16
年度合計 (月平均)	5,858,549,402 (488,212,450.2)	9,283,047 ⁷⁸ (773,587.3)	6,265,800 (696,200.0)	0.16

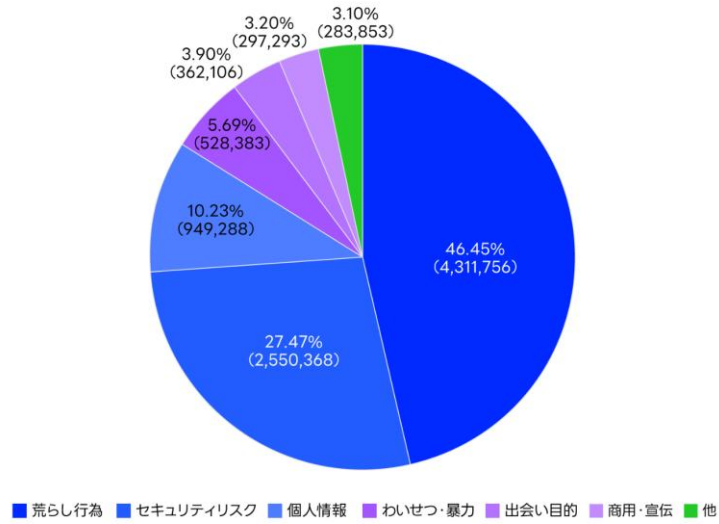
<参考>

年度	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除割合(%)
----	---------	-----------	---------

⁷⁸ 2024 年度と比較して削除数が増加した背景としては、集計対象を見直し拡大したことが一因と考えられます。具体的には、2025 年度は、①削除件数にノート投稿やノート投稿に対するコメント非表示対応も含めていること、②「荒らし行為」を理由とする削除については、日本国内の電話番号以外を用いて登録された個人アカウントによって作成されたオープンチャットにおける、日本国内の電話番号を用いて登録された個人アカウントに対する措置も含めていることが挙げられます。

2024 年度合計 (月平均)	5,514,828,787 (459,569,065.6)	6,980,935 (581,744.6)	0.13
--------------------	----------------------------------	--------------------------	------

投稿削除件数を削除理由別にみると次のとおりです。



削除理由	件数(うち AI 等による削除件数)(件)	構成比(%)
荒らし行為	4,311,756 (4,302,984)	46.45
セキュリティリスク	2,550,368 (2,467,646)	27.47
個人情報	949,288 (387,210)	10.23
わいせつ・暴力	528,383 (248,843)	5.69
出会い目的	362,106 (27,084)	3.90
商用・宣伝	297,293 (70,401)	3.20
誹謗中傷	176,296 (6,587)	1.90
なりすまし	35,535	0.38

	(35,265)	
差別・ヘイト	18,608 (1,990)	0.20
自殺・危害予告	17,453 (318)	0.19
法令違反	16,453 (4,027)	0.18
児童ポルノ	15,644 (3,380)	0.17
偽・誤情報	2,662	0.03
権利侵害	1,202 (30)	0.01
合計	9,283,047 (7,555,765)	100.00

このように、削除理由としては、「荒らし行為」が最も多く、次いで「セキュリティリスク」が多くなっています。

また、削除通知件数⁷⁹を通知理由別にみると次のとおりです。

削除通知理由	件数(件)	構成比 ⁸⁰ (%)
荒らし行為	2,944,310	46.98
セキュリティリスク	1,677,748	26.78
個人情報	640,915	10.23
わいせつ・暴力	344,377	5.50
出会い目的	211,151	3.37
商用・宣伝	209,375	3.34
誹謗中傷	152,114	2.43
なりすまし	32,462	0.52
差別・ヘイト	15,451	0.25

⁷⁹ 投稿削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。オープンチャットにおける削除通知開始は7月21日のため、同日以前を除き、通知件数は削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を2025年7月29日～2026年3月として算出しています。

⁸⁰ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「荒らし行為」の構成比で調整しています。

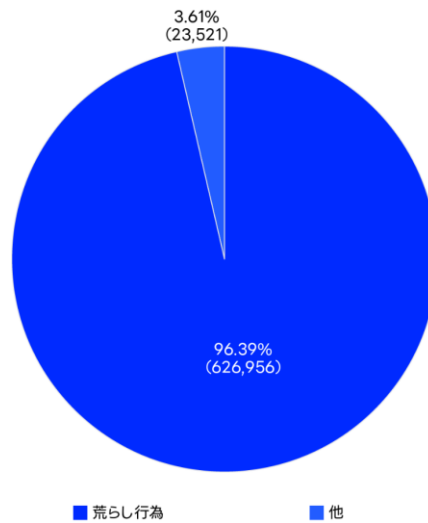
自殺・危害予告	15,055	0.24
法令違反	10,672	0.17
児童ポルノ	9,593	0.15
偽・誤情報	1,742	0.03
権利侵害	835	0.01
合計	6,265,800	100.00

なお、上記のとおりコンテンツモデレーションとして投稿を削除した場合には、すべて削除の通知措置を講じていますが、サービスの仕様により生じた一律の削除等については、通知等の措置を講じないことについて正当な理由があるものとして、通知を行っておりません。具体的には、トークルームの削除に伴い管理者だけでなく他の参加者もトークルームへの参加や投稿ができない場合、トークルームの削除に伴いトークルーム内の投稿も削除される場合、ノートの削除に伴いノートコメントも削除された場合が該当します。

(2) 投稿停止件数・投稿停止通知件数

2025年度の投稿停止件数は650,477件でした。投稿停止通知件数⁸¹は480,188件でした。投稿停止理由別にみると次のとおりです。

⁸¹ 投稿停止を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。オープンチャットにおける投稿停止通知開始は6月25日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿停止件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を2025年7月～2026年3月として算出しています。



投稿停止理由	件数(うち AI 等による投稿停止件数)(件)	構成比 ⁸² (%)
荒らし行為	626,956 (604,147)	96.39
出会い目的	16,837	2.59
個人情報	4,416	0.68
法令違反	844	0.13
児童ポルノ	671	0.10
商用・宣伝	415	0.06
自殺・危害予告	146	0.02
わいせつ・暴力	129	0.02
誹謗中傷	37	0.01
権利侵害	15	0.00
セキュリティリスク	9	0.00
なりすまし	2	0.00
合計	650,477(604,147)	100.00

また、投稿停止通知件数を通知理由別にみると次のとおりです。

投稿停止通知理由	件数(件)	構成比 ⁸³ (%)
----------	-------	-----------------------

⁸² 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「出会い目的」の構成比で調整しています。

⁸³ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「荒らし行為」の構成比で調整しています。

荒らし行為	462,713	96.37
出会い目的	12,777	2.66
個人情報	3,085	0.64
法令違反	530	0.11
児童ポルノ	522	0.11
商用・宣伝	369	0.08
自殺・危害予告	118	0.02
わいせつ・暴力	37	0.01
誹謗中傷	23	0.00
セキュリティリスク	9	0.00
権利侵害	4	0.00
なりすまし	1	0.00
合計	480,188	100.00

なお 2025 年 6 月 25 日の通知の運用を開始した以降に投稿停止措置を行なった場合には、すべて投稿停止通知の措置を講じています。

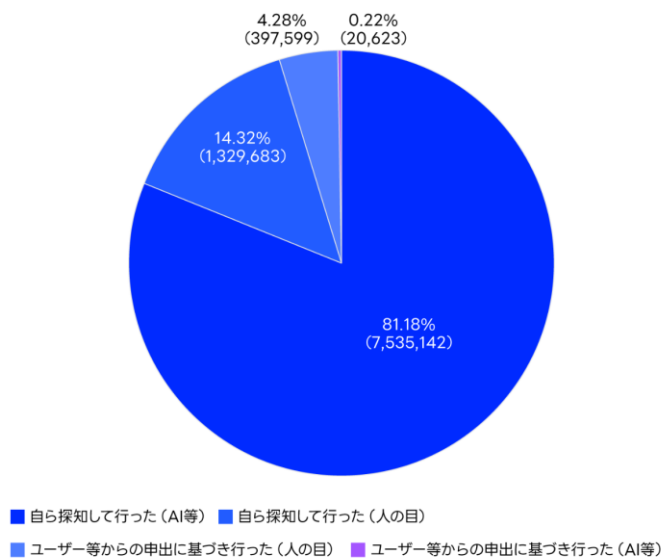
3. 削除・投稿停止の端緒別の状況

オープンチャットでは、投稿ごとに「通報ボタン」を設置し、禁止規定に違反すると思われる投稿について、ユーザーからの違反報告を幅広く受け付けています⁸⁴。一方で、違反報告がない投稿についても AI 等や専門チームのスタッフの巡回パトロールによる積極的な探知に努めています。

このように、投稿の削除はユーザー等からの違反報告を受けて行う場合⁸⁵と LINE ヤフー自らが探知して行う場合があります、この端緒について 2025 年度の状況は次のとおりです。

⁸⁴ 投稿のほか、トークルームのメイン画面およびユーザーのプロフィール画面にも通報ボタンを設置し、同様に対応しています。

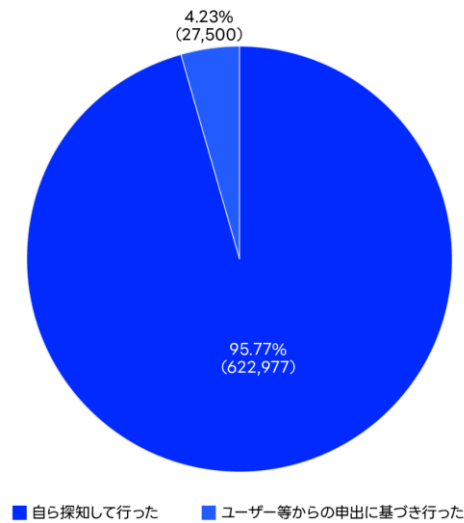
⁸⁵ 「1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況」で公表した削除件数および「7. オンラインフォームの受付・対応状況」で公表した削除件数も含んでいます。



端緒	件数(件)	構成比 ⁸⁶ (%)
自ら探知して行った (AI等)	7,535,142	81.18
自ら探知して行った(人の目)	1,329,683	14.32
ユーザー等からの申出に基づき行った(人の目)	397,599	4.28
ユーザー等からの申出に基づき行った(AI等)	20,623	0.22
合計	9,283,047	100.00

また、投稿停止の端緒について 2025 年度の状況を見ると次のとおりです。

⁸⁶ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「自ら探知して行った (AI 等)」の構成比で調整しています。



端緒	件数(件)	構成比(%)
自ら探知して行った	622,977	95.77
ユーザー等からの申出に基づき行った	27,500	4.23
合計	650,477	100.00

4. ユーザーからの違反報告に関するデータ

(1) ユーザーからの違反報告の状況

2025年度のユーザーからの違反報告件数は4,046,601件⁸⁷です。

ユーザーからの違反報告件数を報告理由別にみると次のとおりです。

ユーザーが選択した報告理由	件数(件)	割合 ⁸⁸ (%)
迷惑行為	1,541,887	38.11
性的いやがらせ/出会い目的	838,574	20.72
スパム/宣伝目的	653,147	16.14
トピックと無関係な内容	234,193	5.79

⁸⁷ 参考として、少なくとも1件以上違反報告があった投稿の数は、430,632件でした。

⁸⁸ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「迷惑行為」の構成比で調整しています。

詐欺	218,513	5.40
なりすまし	113,455	2.80
その他	446,832	11.04
合計	4,046,601	100.00

(2) ユーザーからの違反報告に関する対応状況

前述のとおり、ユーザーから少なくとも1件以上違反報告を受けた投稿の全件について専門チームのスタッフが違反の有無を判定しています。判定の結果、削除に至った件数及び至らなかった件数、それぞれの判定理由は次のとおりです。

判定の結果	件数(うち AI 等による件数)(件)	構成比(%) ⁸⁹
削除に至った(理由別)	418,222 (20,623)	97.12
誹謗中傷	162,406	(38.83)
セキュリティリスク	79,841 (8,857)	(19.09)
わいせつ・暴力	56,433	(13.49)
商用・宣伝	37,250	(8.91)
個人情報	24,079 (48)	(5.76)
荒らし行為	18,191 (11,718)	(4.35)
差別・ヘイト	15,970	(3.82)
出会い目的	14,014	(3.35)
自殺・危害予告	3,963	(0.95)
法令違反	3,050	(0.73)
児童ポルノ	2,177	(0.52)
偽・誤情報	416	(0.10)
権利侵害	264	(0.06)
なりすまし	168	(0.04)
削除に至らなかった(理由別)	12,410	2.88

⁸⁹ ()内は各小計に対する構成比です。

	情プラ法第 26 条第 1 項所定の削除基準に該当しなかったため	12,410	(100.0)
合計		430,632	100.00

また、LINE ヤフーでは違反報告を受けてから削除までの所要時間を自己評価として公表しております。削除に至った投稿に対する違反報告件数⁹⁰は 298,050 件でした。違反報告ごとの、受理から削除までの所要時間は次のとおりです。

所要時間	件数(件)	構成比(%)
2 時間未満	297,638	99.86
2-8 時間未満	346	0.12
8-24 時間未満	13	0.00
24 時間以上	53	0.02
合計	298,050	100.00

このように、2 時間未満での削除が多く、迅速に対応ができています。

5. LINE ヤフー自らが探知して行った削除

オープンチャットにおいては、24 時間 365 日、違反報告がない投稿についても AI 等や専門チームのスタッフの巡回パトロールによる積極的な探知に努めています。

LINE ヤフー自らが探知して行った投稿削除数を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比(%)
荒らし行為	4,293,565	48.43
セキュリティリスク	2,470,527	27.87
個人情報	925,209	10.44
わいせつ・暴力	471,950	5.32
出会い目的	348,092	3.93
商用・宣伝	260,043	2.93

⁹⁰ オープンチャットの自己評価では 2025 年 10 月以降の違反報告を対象に算出しています。

なりすまし	35,367	0.40
誹謗中傷	13,890	0.16
自殺・危害予告	13,490	0.15
児童ポルノ	13,467	0.15
法令違反	13,403	0.15
差別・ヘイト	2,638	0.03
偽・誤情報	2,246	0.03
権利侵害	938	0.01
合計	8,864,825	100.00

このうち、AI 等による自動削除の件数を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比(%)
荒らし行為	4,291,266	56.95
セキュリティリスク	2,458,789	32.63
個人情報	387,162	5.14
わいせつ・暴力	248,843	3.30
商用・宣伝	70,401	0.93
なりすまし	35,265	0.47
出会い目的	27,084	0.36
誹謗中傷	6,587	0.09
法令違反	4,027	0.05
児童ポルノ	3,380	0.04
差別・ヘイト	1,990	0.03
自殺・危害予告	318	0.00
権利侵害	30	0.00
合計	7,535,142	100.00

6. 異議申立ての状況

削除や投稿停止措置に対しては、オープンチャットは専用フォーム⁹¹を新設し、異議申し立てや問い合わせを受け付けています。

⁹¹ <https://contact-cc.line.me/cm/15944>

(1) 削除に対する異議申立て

2025 年度における削除に対する異議申立て件数と、問い合わせを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

項目	件数(件)
削除に対する異議申立て(うち削除が AI 等によるもの)	723(355)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち削除が AI 等によるもの)	2(1)

2025 年度において投稿削除に対する異議申立ての件数は 723 件(月平均 60.3 件)であり、投稿削除に対する異議申立ての割合は 0.01%です。

(2) 投稿停止に対する異議申立て

2025 年度における投稿停止に対する異議申立て件数と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

項目	件数(件)
投稿停止に対する異議申立て(うち投稿停止が AI 等によるもの)	4,909(3,618)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち投稿停止が AI 等によるもの)	77(65)

2025 年度において投稿停止に対する問い合わせの件数は 4,909 件(月平均 409.1 件)であり、投稿停止に対する異議申し立ての割合は 0.75%でした。

7. オンラインフォームの受付・対応状況

オープンチャットは、アプリ版は 2025 年 6 月 11 日より、デスクトップ版は 2025 年 6 月 10 日より、オンラインフォームにおいて権利侵害投稿に対する削除請求を受け付けています。以下のデータは、同日から 2026 年 3 月末日までの期間で抽出しています。

(1) 受付状況

申出の受付件数⁹²を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
プライバシー	442	17.95
名誉感情	432	17.55
名誉権	423	17.18
私生活の平穏	378	15.35
肖像権	255	10.36
氏名権	176	7.15
著作権侵害および著作隣接権	103	4.18
営業上の利益	50	2.03
パブリシティ権	49	1.99
その他	154	6.26
合計	2,462	100.00

(2) 一定期間内の対応状況

一定期間内に削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	42	17.50
プライバシー	41	17.08
名誉感情	37	15.42
私生活の平穏	36	15.00
氏名権	26	10.83
肖像権	21	8.75
著作権侵害および著作隣接権	11	4.58
営業上の利益	7	2.92
パブリシティ権	4	1.67
その他	15	6.25

⁹² 対象投稿が特定不可の場合、権利者ご自身ではなく第三者からの申出の場合等は、情ブラ法第 22 条第 1 項に定める申出に該当しないため集計対象外です。なお、対象期間において、特定不可となった案件は 1474 件でした。

合計	240	100.00
----	-----	--------

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。なお、削除しない旨を通知したものの中には、LINE ヤフーが申出を確認した時点で既に対象投稿が削除済みあるいは閲覧できない状態になっていた場合を含みません⁹³。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	327	18.54
プライバシー	313	17.74
名誉感情	306	17.35
私生活の平穏	264	14.97
肖像権	125	7.09
氏名権	123	6.97
著作権侵害および著作隣接権	69	3.91
営業上の利益	53	3.00
パブリシティ権	40	2.27
その他	144	8.16
合計	1,764	100.00

なお、判断結果を通知できなかったもの⁹⁴は、オンラインフォームに入力されたメールアドレスが不達であった場合のみでした。

(3) 一定期間を超えた場合の対応状況

一定期間を超えて削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ⁹⁵ (%)
肖像権	40	20.40

⁹³ 一定期間内の対応と一定期間を超えた場合の対応とをあわせて、削除済み等の場合は13件でした。

⁹⁴ 「通知しないことについて正当な理由があるとき」(情プラ法第25条第1項ただし書)に該当します。

⁹⁵ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「肖像権」の構成比で調整しています。

プライバシー	35	17.86
名誉権	30	15.31
名誉感情	29	14.80
私生活の平穩	27	13.78
氏名権	17	8.67
著作権侵害および著作隣接権	6	3.06
パブリシティ権	4	2.04
その他	8	4.08
合計	196	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉感情	76	18.49
私生活の平穩	71	17.27
プライバシー	70	17.03
肖像権	60	14.60
名誉権	54	13.14
氏名権	27	6.57
著作権侵害および著作隣接権	25	6.08
パブリシティ権	14	3.41
営業上の利益	3	0.73
その他	11	2.68
合計	411	100.00

(4) 第 25 条第 2 項第 1 号～第 3 号の対応状況

一定期間を超えたものは、すべて、侵害情報調査専門員に調査を行わせた(法第 25 条第 2 項第 2 号)案件で、同項第 1 号及び同項第 3 号に該当するものではありませんでした。申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ⁹⁶ (%)
プライバシー	130	17.94
肖像権	125	17.24
名誉感情	120	16.55
私生活の平穏	112	15.45
名誉権	100	13.79
氏名権	49	6.76
著作権侵害および著作隣接権	37	5.10
パブリシティ権	22	3.03
営業上の利益	6	0.83
その他	24	3.31
合計	725	100.00

⁹⁶ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「プライバシー」の構成比で調整しています。

【LINE VOOM 編】

LINE VOOM について

1. LINE VOOM の提供目的

「LINE VOOM」(以下「VOOM」といいます)は、ショート動画等が楽しめる動画プラットフォームです。

VOOMの主な機能は、ショート動画や写真、テキストの投稿・閲覧です。本サービスのユーザーは、投稿されたコンテンツに対して「いいね」や「コメント」をつけたり、シェアしたりすることができ、ユーザー同士のコミュニケーションの場として活用できます。また、LINE公式アカウント(以下「公式アカウント」といいます)や個人アカウントがシェアした動画は友だち以外も閲覧可能で、不特定多数のユーザーとフォロー関係で繋がる等により、アカウントや動画のさらなる認知拡大にも活用することができます。

2. 禁止行為について

VOOMへの投稿に当たっては、「LINE VOOM コミュニティ利用規則」が適用されます。

- **LINE VOOM コミュニティ利用規則**

https://terms.line.me/line_voom_community_guideline?lang=ja&country=JP

LINE VOOM コミュニティ利用規則(以下「利用規則」といいます)については、偽・誤情報や誹謗中傷等の問題投稿、日々変化する社会情勢やSNSトレンド、利用シーンやニーズ等を踏まえ、不断の見直しを行っています。見直しにあたっては、権利侵害の防止はもちろん、投稿者の表現の自由にも配慮し、分かりやすくバランスの取れた基準となる

よう、関係する各部門が連携して、利用規則の改定要否や内容を検討しています。

2025 年度も見直しの一環として、「科学的根拠が確認できない効果・効能を訴求する商品・サービス」「未実証の理論や現象に基づき、効果を断定的に訴求する商品・サービス」等、非科学的・疑似科学的な商業宣伝投稿が増加している状況を踏まえ、取り締まりを強化いたしました。

なお、法第 26 条第 3 項に基づく基準の変更の対象となった情報は、2025 年度においては発生しませんでした。

3. 禁止行為違反への対応について

利用規則の違反と判定された投稿については削除を行っています。また、違反行為を繰り返す等のユーザーに対して、個人アカウントの投稿停止措置⁹⁷や、公式アカウントのアカウント停止⁹⁸、強制退会⁹⁹の措置(以下、まとめて「投稿停止措置等」といいます)を講じています。

4. LINE Safety Center-LINE の安心安全ガイド

すべてのユーザーが LINE のサービスを安心安全にご利用いただくため、LINE Safety Center-LINE の安心安全ガイドを用意し、保護者や教育関係者の皆さんに向けて未成年者がトラブルに巻き込まれることを防ぐための情報等を提供しています。

⁹⁷ 「投稿停止措置」とは、個人アカウントの投稿機能(VOOM 投稿だけでなく、ストーリー投稿およびコメント投稿も含む)を一時的または永久的に停止する措置をいいます。以下同様。

⁹⁸ 「アカウント停止」とは、公式アカウントについて、投稿活動を含む管理機能を停止する措置をいいます。以下同様。

⁹⁹ 「強制退会」とは、公式アカウントについて、投稿を含むサービス上への露出がすべて削除され、退会処理となる措置をいいます。以下同様。

- LINE の安心安全ガイド

<https://guide.line.me/ja/safety/>

5. 2025 年度におけるコンテンツモデレーションの状況

1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況

VOOM における 2025 年度の対応状況は次のとおりです。

(1) 裁判外の請求¹⁰⁰

削除請求投稿件数：1 件 (申出理由の別：人格権 1 件)	
	削除に至った投稿件数：0 件 削除に至らなかった投稿件数：1 件 (申出理由の別：人格権 1 件)
開示請求投稿件数：0 件	
	開示に至った件数：0 件 開示に至らなかった投稿件数：0 件

(2) 公的機関からの要請

2025 年度においては、公的機関からの削除要請はありませんでした。

(3) 裁判上の請求(訴訟)

削除請求件数：0 件
削除の判決または決定があった投稿件数：0 件

¹⁰⁰ 2024 年度においては LINE お問い合わせ窓口で請求があった件数を計上しておりましたが、情報流通プラットフォーム対処法に基づくオンラインでの請求窓口を実装したことを踏まえ、本年度より本項では書面による請求件数のみを計上しております。

開示請求投稿件数：1 件 (申立て理由の別：知財権 1 件)
開示の判決または決定のあった投稿件数：1 件 (申立て理由の別：知財権 1 件)

なお、裁判所から開示を行うよう判決又は決定があった場合は、すべてこれに従い開示を行いました。

2. 削除と投稿停止の実施状況および削除と投稿停止の通知状況の概要¹⁰¹

(1) 投稿件数と削除・削除通知件数

VOOM における 2025 年度の投稿件数¹⁰²は **441,730,492 件(月平均 36,810,874.3 件)**でした。また、削除件数¹⁰³は **1,614,357 件(月平均 134,529.8 件)**でした。大規模 PF に課される義務への対応として期中より集計を開始した削除通知件数¹⁰⁴は **1,152,029 件(月平均 128,003.2 件)**でした。投稿数に対する投稿削除件数の割合についてみると、2025 年度は **0.37%**でした。

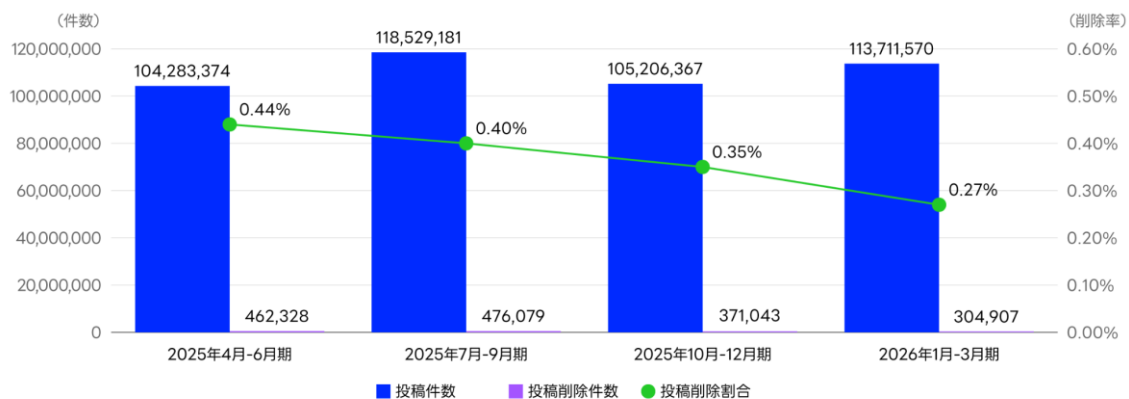
[VOOM] 四半期ごとの投稿件数と投稿削除・投稿削除通知件数および投稿削除割合

¹⁰¹ 個人アカウントでは、日本国内の電話番号を用いてアカウント登録をしたもの、公式アカウントでは、アカウント作成時に使用した個人アカウントが日本国内の電話番号を用いて登録したもの、またはメールアドレスから登録したときは、その際の IP アドレスが日本国内であるものを、日本の利用者としみなして集計しています。

¹⁰² 公式アカウント、個人アカウントによる投稿の合算となります。また、各 VOOM 投稿、ストーリー投稿、コメント・リプライを合算値となります。

¹⁰³ VOOM 投稿、ストーリー投稿、コメント・リプライの削除の合算値となります。

¹⁰⁴ 削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。VOOM における投稿削除通知開始は Web 版:6 月 26 日、アプリ版:6 月 27 日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 7 月～2026 年 3 月として算出しています。



四半期	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除通知件数(件)	削除割合 (%)
4-6 月期 (月平均)	104,283,374 (34,761,124.7)	462,328 (154,109.3)	-	0.44
7-9 月期 (月平均)	118,529,181 (39,509,727.0)	476,079 (158,693.0)	476,079 (158,693.0)	0.40
10-12 月期 (月平均)	105,206,367 (35,068,789.0)	371,043 (123,681.0)	371,043 (123,681.0)	0.35
1-3 月期 (月平均)	113,711,570 (37,903,856.7)	304,907 (101,635.7)	304,907 (101,635.7)	0.27
年度合計 (月平均)	441,730,492 (36,810,874.3)	1,614,357 ¹⁰⁵ (134,529.8)	1,152,029 (128,003.2)	0.37

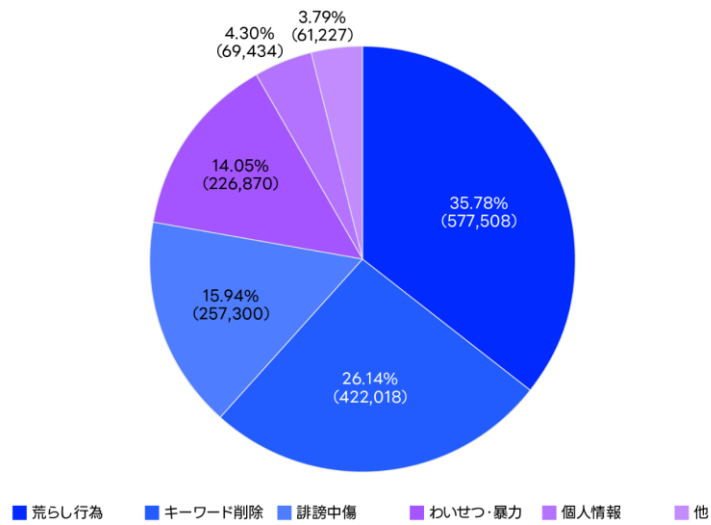
<参考>

年度	投稿件数(件)	削除件数(件) ¹⁰⁶	削除割合(%)
2024 年度合計 (月平均)	403,331,897 (33,610,991.4)	3,055,002 (254,583.5)	0.76

削除件数を削除理由別にみると次のとおりです。

¹⁰⁵ 2024 年度と比較して削除数が減少した原因としては、2024 年度は同一の投稿に対し、文章と画像を別々にモニタリングし、それぞれ削除した場合、削除処理件数は 2 件とカウントしていましたが、2025 年度よりユニーク数でカウントしているため 1 件となり投稿に対する重複カウントがなくなったことが原因と見られます。

¹⁰⁶ プロフィールリセット数は含んでいません。



削除理由	件数(うち AI 等による削除件数)(件)	構成比 ¹⁰⁷ (%)
荒らし行為	577,508 (514,441)	35.78
キーワード削除	422,018 (419,295)	26.14
誹謗中傷	257,300 (2,251)	15.94
わいせつ・暴力	226,870 (16,046)	14.05
個人情報	69,434 (34,548)	4.30
出会い目的	20,268 (1,873)	1.26
自殺・危害予告	10,844 (216)	0.67
法令違反	10,456 (20)	0.65
商用・宣伝	7,943 (4)	0.49

¹⁰⁷ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「荒らし行為」の構成比で調整しています。

差別・ヘイト	6,162 (78)	0.38
児童ポルノ	2,007 (316)	0.12
権利侵害	952 (3)	0.06
偽・誤情報	552 (7)	0.03
閲覧数増目的	383 (380)	0.02
プレゼント行為	269	0.02
不利益行為	269 (83)	0.02
なりすまし	6	0.00
セキュリティリスク	5	0.00
その他 ¹⁰⁸	1,111 (1,099)	0.07
合計	1,614,357 (990,650)	100.00

AI 等による削除においては「荒らし行為」、「キーワード削除」が多い傾向にあります。AI 等による削除を除くと、「誹謗中傷」「わいせつ・暴力」が多い傾向にあります。

また、削除通知件数¹⁰⁹を通知理由別にみると次のとおりです。

削除通知理由	件数(件)	構成比(%)
荒らし行為	421,253	36.57
キーワード削除	303,422	26.34
誹謗中傷	181,348	15.74
わいせつ・暴力	152,618	13.25

¹⁰⁸ すべて 6 月以前の件数となります。

¹⁰⁹ 投稿削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。VOOM における削除通知開始は Web 版:6 月 26 日、アプリ版:6 月 27 日のため、同日以前を除き、通知件数は削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 7 月～2026 年 3 月として算出しています。

個人情報	50,344	4.37
出会い目的	13,922	1.21
法令違反	8,256	0.72
自殺・危害予告	7,201	0.63
商用・宣伝	5,925	0.51
差別・ヘイト	4,959	0.43
児童ポルノ	1,350	0.12
権利侵害	824	0.07
プレゼント行為	264	0.02
偽・誤情報	250	0.02
不利益行為	51	0.00
閲覧数増目的	36	0.00
セキュリティリスク	5	0.00
なりすまし	1	0.00
合計	1,152,029	100.00

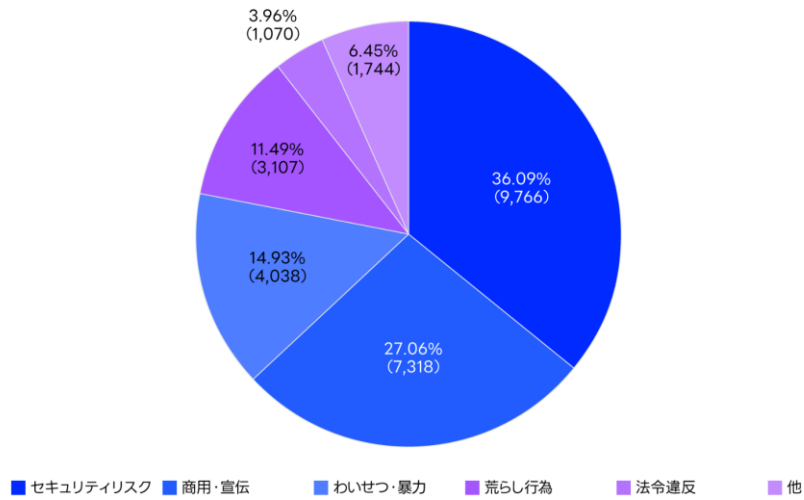
なお、上記のとおりコンテンツモデレーションとして投稿を削除した場合には、すべて削除の通知措置を講じていますが、サービスの仕様により生じた一律の削除等については、通知等の措置を講じないことについて正当な理由があるものとして、通知を行っておりません。具体的には、違反投稿の削除に伴い当該投稿に付されたコメント・リプライが削除された場合、違反コメントの削除に伴い当該コメントに付されたリプライが削除された場合、また、公式アカウントの強制退会に伴い VOOM 上の投稿が削除された場合が該当します¹¹⁰。

(2) 投稿停止件数・投稿停止通知件数

2025 年度の投稿停止件数は 27,043 件でした。投稿停止理由別にみると次のとおりです。投稿停止通知件数は 21,128 件でした。投稿停止件数を投稿停止理由別にみると次のとおりです。

¹¹⁰ 各措置の詳細は下記をご確認ください。

https://terms.line.me/line_voom_community_guideline?lang=ja&country=JP



投稿停止理由	件数(うち AI 等による投稿停止件数)(件)	構成比 ¹¹¹ (%)
セキュリティリスク	9,766 (9,667)	36.09
商用・宣伝	7,318	27.06
わいせつ・暴力	4,038	14.93
荒らし行為	3,107 (115)	11.49
法令違反	1,070	3.96
権利侵害	399	1.48
児童ポルノ	324	1.20
出会い目的	280	1.04
誹謗中傷	264	0.98
自殺・危害予告	253	0.94
プレゼント行為	214	0.79
不利益行為	7	0.03
個人情報	2	0.01
なりすまし	1	0.00
合計	27,043 (9,782)	100.00

¹¹¹ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「セキュリティリスク」の構成比で調整しています。

また、投稿停止通知件数¹¹²を通知理由別にみると次のとおりです。

投稿停止通知理由	件数(件)	構成比 ¹¹³ (%)
セキュリティリスク	7,589	35.93
商用・宣伝	6,841	32.38
わいせつ・暴力	2,550	12.07
荒らし行為	1,987	9.40
法令違反	848	4.01
権利侵害	329	1.56
児童ポルノ	219	1.04
プレゼント行為	214	1.01
出会い目的	194	0.92
自殺・危害予告	176	0.83
誹謗中傷	174	0.82
不利益行為	6	0.03
個人情報	1	0.00
合計	21,128	100.00

なお 2025 年 7 月 2 日の通知の運用を開始した以降に投稿停止措置を行なった場合には、すべて投稿停止通知の措置を講じています。

3. 削除・投稿停止の端緒別の状況

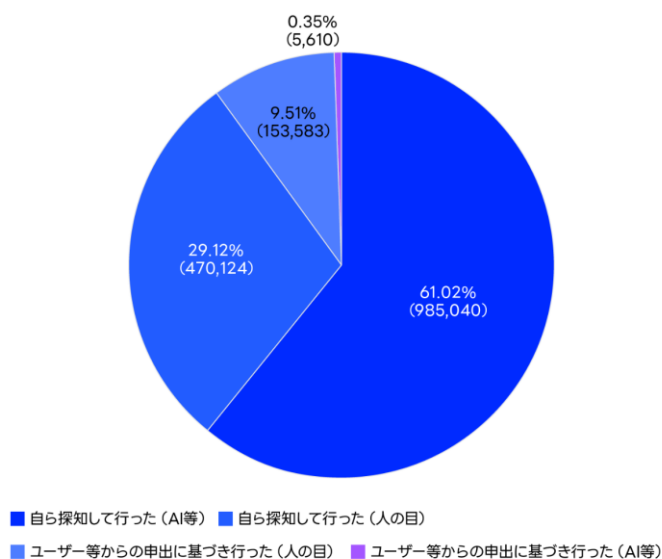
VOOM では、投稿ごとに「通報ボタン」を設置し、利用規則に違反すると思われる投稿について、ユーザーからの違反報告を幅広く受け付けています¹¹⁴。一方で、違反報告がない投稿についても AI 等や専門チームのスタッフの巡回パトロールによる積極的な探知に努めています。

¹¹² 投稿停止を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。VOOM における投稿停止通知開始は 7 月 22 日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿停止件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 7 月 29 日～2026 年 3 月として算出しています。

¹¹³ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「セキュリティリスク」の構成比で調整しています。

¹¹⁴ VOOM 投稿のほか、ストーリー投稿、コメント・リプライにも通報ボタンを設置し、同様に対応しています。

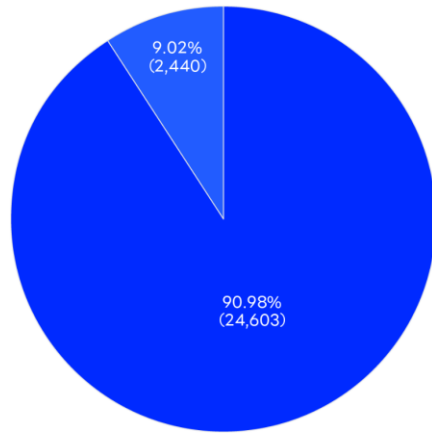
このように、投稿の削除はユーザー等からの違反報告を受けて行う場合¹¹⁵と LINE ヤフー自らが探知して行う場合があります、この端緒の別について 2025 年度の状況は次のとおりです。



端緒	件数(件)	構成比(%)
自ら探知して行った(AI 等)	985,040	61.02
自ら探知して行った(人の目)	470,124	29.12
ユーザー等からの申出に基づき行った(人の目)	153,583	9.51
ユーザー等からの申出に基づき行った(AI 等)	5,610	0.35
合計	1,614,357	100.00

また、投稿停止の端緒の別について 2025 年度の状況を見ると次のとおりです。

¹¹⁵ 「1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況」で公表した削除件数および「7. オンラインフォームの受付・対応状況」で公表した削除件数も含んでいます。



■ 自ら探知して行った ■ ユーザー等からの申出に基づき行った

端緒	件数(件)	構成比(%)
自ら探知して行った	24,603	90.98
ユーザー等からの申出に基づき行った	2,440	9.02
合計	27,043	100.00

4. ユーザーからの違反報告に関するデータ

(1) ユーザーからの違反報告の状況

2025年度のユーザーからの違反報告件数は1,381,894件¹¹⁶でした。

ユーザーからの違反報告件数を報告理由別にみると次のとおりです。

ユーザーが選択した報告理由	件数(件)	割合 ¹¹⁷ (%)
迷惑行為	682,422	49.39
スパム/宣伝目的	266,466	19.28
性的いやがらせ/出会い目的	171,355	12.40
著作権侵害	145	0.01

¹¹⁶ 参考として、少なくとも1件以上違反報告があった投稿の数は、1,284,178件でした。

¹¹⁷ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「迷惑行為」の構成比で調整しています。

その他	261,506	18.92
合計	1,381,894	100.00

(2) ユーザーからの違反報告に関する対応状況

前述のとおり、ユーザーから少なくとも1件以上違反報告があった投稿の全件について専門チームのスタッフが違反の有無を判定しています。判定の結果、削除に至った件数及び至らなかった件数、それぞれの判定理由は次のとおりです。

判定の結果	件数(うちAI等による件数)(件)	構成比 ¹¹⁸ (%)
削除に至った(理由別)	159,193 (5,610)	12.40
誹謗中傷	109,721	(68.93)
わいせつ・暴力	22,039	(13.84)
荒らし行為	11,944	(7.50)
キーワード削除	5,628 (5,610)	(3.54)
個人情報	3,106	(1.95)
差別・ヘイト	2,339	(1.47)
出会い目的	2,089	(1.31)
権利侵害	738	(0.46)
自殺・危害予告	520	(0.33)
商用・宣伝	398	(0.25)
法令違反	328	(0.21)
偽・誤情報	241	(0.15)
児童ポルノ	50	(0.03)
不利益行為	42	(0.00)
プレゼント行為	6	(0.00)
なりすまし	1	(0.00)
セキュリティリスク	1	(0.00)
閲覧数増目的	1	(0.00)

¹¹⁸ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「誹謗中傷」の構成比で調整しています。また、()内は各小計に対する構成比です。

	その他 ¹¹⁹	1	(0.00)
	削除に至らなかった(理由別)	1,124,985	87.60
	情プラ法第 26 条第 1 項所定の削除基準に該当しなかったため	1,124,985	(100.00)
	合計	1,284,178	100.00

また、LINE ヤフーでは違反報告を受けてから削除までの所要時間を自己評価として公表しております。削除に至った投稿に対する違反報告件数は 177,074 件でした。違反報告ごとの、受理から削除までの所要時間は次のとおりです。

所要時間	件数(件)	構成比(%)
2 時間未満	172,679	97.52
2-8 時間未満	4,052	2.29
8-24 時間未満	143	0.08
24 時間以上	200	0.11
合計	177,074	100.00

このように、2 時間未満での削除が多く、迅速に対応ができていますといえます。

5. LINE ヤフー自らが探知して行った削除

VOOM においては、24 時間 365 日、違反報告がない投稿についても AI 等や専門チームのスタッフの巡回パトロールによる積極的な探知に努めています。

LINE ヤフー自らが探知して行った投稿削除数を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比 ¹²⁰ (%)
荒らし行為	565,564	38.86
キーワード削除	416,390	28.61
わいせつ・暴力	204,831	14.08

¹¹⁹ すべて 6 月以前の件数となります。

¹²⁰ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「荒らし行為」の構成比で調整しています。

誹謗中傷	147,579	10.14
個人情報	66,328	4.56
出会い目的	18,179	1.25
自殺・危害予告	10,324	0.71
法令違反	10,128	0.70
商用・宣伝	7,545	0.52
差別・ヘイト	3,823	0.26
児童ポルノ	1,957	0.13
閲覧数増目的	382	0.03
偽・誤情報	311	0.02
プレゼント行為	263	0.02
不利益行為	227	0.02
権利侵害	214	0.01
なりすまし	5	0.00
セキュリティリスク	4	0.00
その他 ¹²¹	1,110	0.08
合計	1,455,164	100.00

このうち、AI 等による自動削除の件数を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比 ¹²² (%)
荒らし行為	514,441	52.22
キーワード削除	413,685	42.00
個人情報	34,538	3.51
わいせつ・暴力	16,046	1.63
誹謗中傷	2,251	0.23
出会い目的	1,873	0.19
閲覧数増目的	380	0.04
児童ポルノ	316	0.03
自殺・危害予告	216	0.02
不利益行為	83	0.01
差別・ヘイト	78	0.01
法令違反	20	0.00

¹²¹ すべて6月以前の件数となります。

¹²² 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「荒らし行為」の構成比で調整しています。

偽・誤情報	7	0.00
商用・宣伝	4	0.00
権利侵害	3	0.00
その他 ¹²³	1,099	0.11
合計	985,040	100.0

6. 異議申立ての状況

VOOMでは専用フォームを設置し、削除や投稿停止措置に対する異議申立てや問い合わせを受け付けています。

(1) 削除に対する異議申立て

2025年度における削除に対する異議申立て件数と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

項目	件数(件)
削除に対する異議申立て(うち削除がAI等によるもの)	508(217)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち削除がAI等によるもの)	47(29)

2025年度において投稿削除に対する異議申立ての件数は508件(月平均42.3件)であり、投稿削除に対する異議申立ての割合は0.03%です。

(2) 投稿停止に対する異議申立て

2025年度における投稿停止に対する異議申立て件数と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

¹²³ すべて6月以前の件数となります。

項目	件数(件)
投稿停止に対する異議申立て(うち投稿停止が AI 等によるもの)	1,112(233)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち投稿停止が AI 等によるもの)	6(0)

2025 年度において投稿停止に対する問い合わせの件数は 1,112 件(92.7 件)であり、投稿停止に対する異議申し立ての割合は 4.11%でした。

7. オンラインフォームの受付・対応状況

VOOM は、アプリ版は 2025 年 6 月 11 日より、Web 版は 2025 年 5 月 28 日より、オンラインフォームにおいて権利侵害投稿に対する削除請求を受け付けています。以下のデータは、同日から 2026 年 3 月末日までの期間で抽出しています。

(1) 受付状況

申出の受付件数¹²⁴を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ¹²⁵ (%)
プライバシー	187	15.84
著作権侵害および著作隣接権	183	15.51
名誉権	162	13.73
私生活の平穏	135	11.44
名誉感情	127	10.76
肖像権	117	9.92
氏名権	92	7.80
営業上の利益	47	3.98
パブリシティ権	44	3.73
その他	86	7.29
合計	1,180	100.00

¹²⁴ 対象投稿が特定不可の場合、権利者ご自身ではなく第三者からの申出の場合等は、情ブラ法第 22 条第 1 項に定める申出に該当しないため集計対象外です。なお、対象期間において、特定不可となった案件は 339 件でした。

¹²⁵ 小数点第 3 位以下の端数により生じた微差を「プライバシー」の構成比で調整しています。

(2) 一定期間内の対応状況

一定期間内に削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
著作権侵害および著作隣接権	60	30.61
プライバシー	28	14.29
名誉権	23	11.73
肖像権	23	11.73
私生活の平穩	20	10.20
名誉感情	15	7.65
氏名権	13	6.63
パブリシティ権	4	2.04
営業上の利益	4	2.04
その他	6	3.06
合計	196	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。なお、削除しない旨を通知したものの中には、LINE ヤフーが申出を確認した時点で既に対象投稿が削除済みあるいは閲覧できない状態になっていた場合を含みます¹²⁶。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
プライバシー	127	16.47
名誉権	114	14.79
私生活の平穩	96	12.45
名誉感情	90	11.67
肖像権	72	9.34
著作権侵害および著作隣接権	72	9.34
氏名権	64	8.30
営業上の利益	38	4.93
パブリシティ権	34	4.41
その他	64	8.30
合計	771	100.00

¹²⁶ 一定期間内の対応と一定期間を超えた場合の対応とをあわせて、削除済み等の場合は104件でした。

なお、判断結果を通知できなかったもの¹²⁷は、オンラインフォームに入力されたメールアドレスが不達であった場合のみでした。

(3) 一定期間を超えた場合の対応状況

一定期間を超えて削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
プライバシー	3	37.50
肖像権	3	37.50
著作権侵害および著作隣接権	2	25.00
合計	8	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
著作権侵害および著作隣接権	47	24.35
プライバシー	28	14.51
名誉権	23	11.92
名誉感情	21	10.88
私生活の平穏	17	8.81
肖像権	17	8.81
氏名権	14	7.25
パブリシティ権	5	2.59
営業上の利益	5	2.59
その他	16	8.29
合計	193	100.00

¹²⁷ 「通知しないことについて正当な理由があるとき」(情プラ法第 25 条第 1 項ただし書)に該当します。

(4) 第 25 条第 2 項第 1 号～第 3 号の対応状況

一定期間を超えたものは、すべて、侵害情報調査専門員に調査を行わせた(法第 25 条第 2 項第 2 号)案件で、同項第 1 号及び同項第 3 号に該当するものではありませんでした。申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
著作権侵害および著作隣接権	51	24.29
プライバシー	32	15.24
名誉権	25	11.90
名誉感情	22	10.48
肖像権	21	10.00
私生活の平穏	18	8.57
氏名権	15	7.14
パブリシティ権	5	2.38
営業上の利益	5	2.38
その他	16	7.62
合計	210	100.00

【ヤフコメ編】

Yahoo!ニュース コメントについて

1. ヤフコメの提供目的

Yahoo!ニュース コメント(以下「ヤフコメ」といいます)は、ニュースや世の中の出来事に関連する多様な意見や考え、感想が集まる場所です。Yahoo!ニュースでは、コメント欄で他のユーザーの意見や考えに触れることが、自分の考えを改めて整理したり、ニュースをより深く、多角的に理解したりするきっかけになると考えています。また、インターネットの双方向性という特性を生かし、メディアによる情報発信に加えて、ユーザーが発信主体となる場を提供することで、さらなる情報の価値を創出することを目指しています。

なお、ヤフコメは情プラ法の大規模なプラットフォーム事業者としての義務は負いませんが、LINE ヤフーにおける主要な投稿型プラットフォームサービスとして、法の趣旨にかんがみ任意で本レポートを公開します。

2. 禁止行為(コメントポリシー)について

ヤフコメが上記の目的に掲げたような「気づき」や「共感」を得られる場所であるためには、ユーザーに安心してご利用いただける環境が提供されていることが何よりも重要です。

Yahoo!ニュースでは、コメントポリシーを定め、投稿が禁止されているコメントや行為を分かりやすく示し、ユーザーに対し遵守をお願いしています。

なお、コメントポリシーにおいては、サービスを安全にご利用いただくため、不快な内容を含むコメントなどについて、必ずしも権利侵害や法令違反には至らない場合であっても禁止の対象としています。

また、法第 26 条第 3 項に定める基準の変更に相当する事項について、2025 年度において公表対象となる変更はありませんでした。

- **Yahoo!ニュース コメントポリシー**

<https://news.yahoo.co.jp/info/comment-policy>

3. 禁止行為(コメントポリシー)違反への対応について

コメントポリシーへの違反があった場合、対象投稿の削除を行うほか、違反の重大性や違反回数に応じ、投稿を行ったユーザーに対しコメントの投稿停止措置を行っています。

また、投稿停止措置を受けたユーザーに対しては、Yahoo! JAPAN ID(以下「YID」といいます)の登録情報である携帯電話番号を照合し、同一の携帯電話番号を利用して取得された YID からのコメントの投稿を制限しています。なお、コメントの投稿に当たっては携帯電話番号の登録が必須となっています。


4. ユーザー自身によるコメントの非表示設定

ニュース記事を閲覧する際、コメント欄を表示させたくない場合には、ユーザー自身が非表示に設定することが可能です。また、特定のユーザーのコメントに限って表示させたくない場合には、ユーザー単位でコメントを非表示に設定することも可能です。なお、非表示設定の内容は、設定したユーザー本人だけが確認できます。

5. 投稿時注意メッセージの掲出

違反と判定されたコメントを繰り返し投稿しているユーザーに対して投稿するコメントの内容の再考を促すため注意喚起メッセージを掲出しています。掲出するメッセージの内容については随時アップデートを行っています。

コメントを書く 自分のコメント(マイページ)

 矢風太郎 ×

この記事に関する意見や疑問、補足情報などを投稿してください。

0/400文字

⚠️ 最近の投稿に違反コメントが含まれると判定されました

違反コメントが繰り返されると、今後、コメントの投稿ができなくなります。
 個人に対する攻撃的な表現や、侮辱など誹謗中傷に当たる投稿は禁止しています。
 誹謗中傷等に関しては、法改正により投稿者の情報開示について簡易な裁判手続きが導入されています。

[ヤフコメポリシー](#)と上記の注意事項をご理解のうえ投稿してください。なお、投稿したコメントはLINE NEWSなど当社が指定するサービス間で相互に表示されることがあります。

はい、確認しました

投稿する

6. 2025年度におけるコンテンツモデレーションの状況¹²⁸

1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況

ヤフコメにおける2025年度の対応状況は次のとおりです。

(1) 裁判外の請求

削除請求投稿件数：6件 (申出理由の別：人格権6件)	
	削除に至った投稿件数：2件 (申出理由の別：人格権2件) 削除に至らなかった投稿件数：4件 (申出理由の別：人格権4件)
開示請求投稿件数：73件 (申出理由の別：人格権73件)	
	開示に至った件数：6件

¹²⁸ ヤフコメは日本国内の利用者を主たる対象としたサービスであるため、以下のすべての数値は日本の利用者に関する数値とみなしています。

(申出理由の別：人格権 6 件) 開示に至らなかった投稿件数：67 件 (申出理由の別：人格権 67 件)

(2) 公的機関からの要請

削除請求投稿件数：1 件 (申出理由の別：人格権 1 件)
削除に至った件数：0 件 削除に至らなかった投稿件数：1 件 (申出理由の別：人格権 1 件)

(3) 裁判上の請求(訴訟)

削除請求投稿件数：0 件
削除の判決または決定があった投稿件数：0 件
開示請求投稿件数：15 件 (申立て理由の別：人格権 15 件)
開示の判決または決定があった投稿件数：3 件 (申立て理由の別：人格権 3 件)

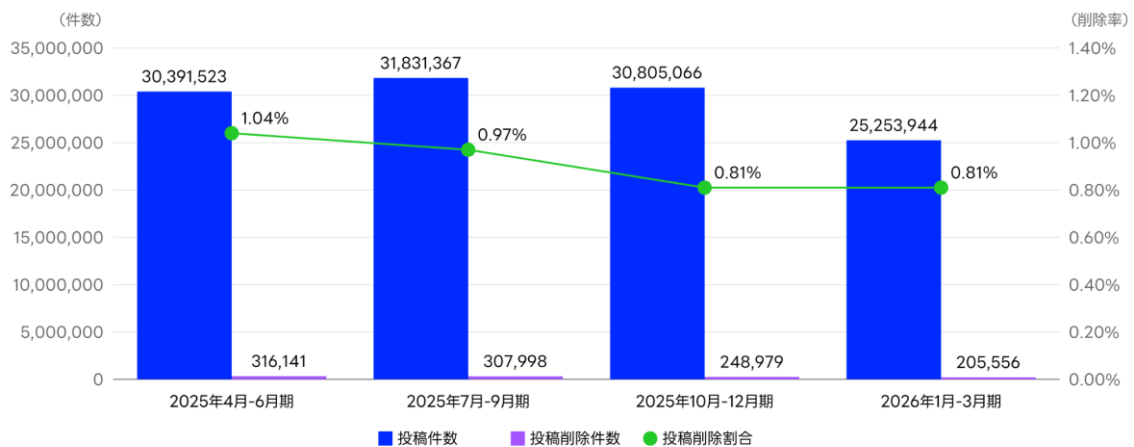
なお、裁判所から開示を行うよう判決又は決定があった場合は、すべてこれに従い開示を行いました。

2. 削除と投稿停止の実施状況および削除と投稿停止の通知状況の概要

(1) 投稿件数と削除・削除通知件数

ヤフコメにおける 2025 年度の投稿件数¹²⁹は **118,281,900 件(月平均 9,856,825.0 件)**でした。また、削除件数¹³⁰は **1,078,674 件(月平均 89,889.5 件)**でした。大規模 PF に課される義務への対応に準じて期中より集計を開始した削除通知件数¹³¹は **867,245 件(月平均 86,724.5 件)**でした。投稿件数に対する投稿削除件数の割合についてみると、2025 年度は **0.91%**でした。

[ヤフコメ] 四半期ごとの投稿件数と投稿削除・投稿削除通知件数および投稿削除割合



四半期	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除通知件数(件)	削除割合 (%)
4-6 月期 (月平均)	30,391,523 (10,130,507.7)	316,141 (105,380.3)	104,712 (104,712.0)	1.04
7-9 月期 (月平均)	31,831,367 (10,610,455.7)	307,998 (102,666.0)	307,998 (102,666.0)	0.97

¹²⁹ コメント投稿数の数値でプロフィールの設定数は含まれません。

¹³⁰ 特に注記がない限りプロフィールのリセット(表示名、紹介文、プロフィール画像を強制的にデフォルトの表示にすること)も含んだ数値となっています。

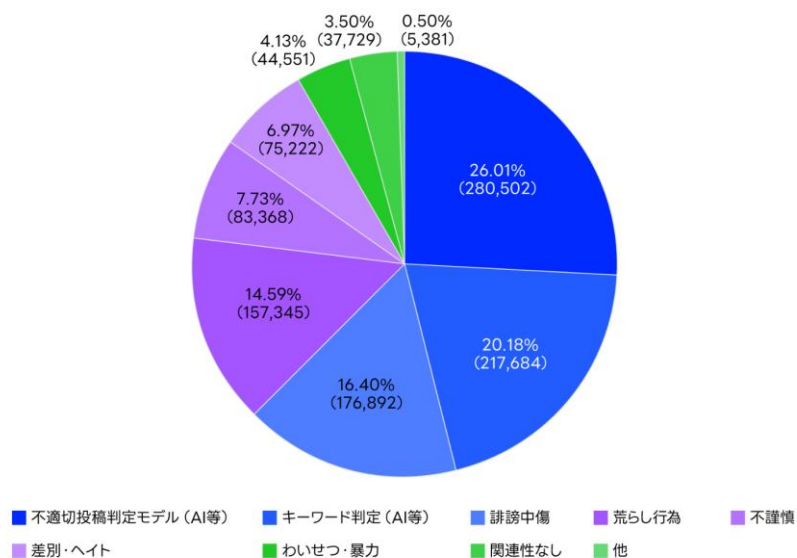
¹³¹ ヤフコメにおける投稿削除通知開始は 5 月 12 日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 6 月～2026 年 3 月として算出しています。

10-12月期 (月平均)	30,805,066 (10,268,355.3)	248,979 (82,993.0)	248,979 (82,993.0)	0.81
1-3月期 (月平均)	25,253,944 (8,417,981.3)	205,556 (68,518.7)	205,556 (68,518.7)	0.81
年度合計 (月平均)	118,281,900 (9,856,825.0)	1,078,674 ¹³² (89,889.5)	867,245 (86,724.5)	0.91

<参考>

年度	投稿件数(件)	投稿削除件数(件)	削除割合(%)
2024年度合計 (月平均)	113,995,832 (9,499,652.6)	1,277,938 (106,494.8)	1.12

削除件数を削除理由別にみると次のとおりです。



削除理由	件数(件)	構成比 ¹³³ (%)
------	-------	------------------------

¹³² 2025年9月にNGワードを精査し一部ワードを削除対象から解除した影響で、2024年度と比較して削除数が減少しています。投稿削除件数は1,078,302件、プロフィールのリセット件数は372件です。

¹³³ 小数点第3位以下の端数により生じた微差を「不適切投稿判定モデル(AI等)」の構成比で調整しています。

不適切投稿判定モデル(AI 等)	280,502	26.01
キーワード判定(AI 等)	217,684	20.18
誹謗中傷	176,892	16.40
荒らし行為	157,345	14.59
不謹慎	83,368	7.73
差別・ヘイト	75,222	6.97
わいせつ・暴力	44,551	4.13
関連性なし	37,729	3.50
個人情報	2,235	0.21
権利侵害	1,344	0.12
法令違反	975	0.09
商用・宣伝	396	0.04
偽・誤情報	267	0.02
自殺・危害予告	139	0.01
なりすまし	15	0.00
総合判断	10	0.00
合計	1,078,674	100.00

AI 等による削除が 46.18%、人の目による削除が 53.82%であり、AI 等により不適切等と判定された投稿の自動削除が多く、人の目による削除においては「誹謗中傷」「荒らし行為」を理由とした削除が多い傾向にあります。

また、削除通知件数¹³⁴を通知理由別にみると次のとおりです。

削除通知理由	件数(件)	構成比(%)
不適切投稿判定モデル(AI 等)	230,481	26.58
キーワード判定(AI 等)	159,702	18.41
誹謗中傷	146,451	16.89

¹³⁴ 投稿削除を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。ヤフコメにおける削除通知開始は 5 月 12 日のため、同日以前を除き、通知件数は削除件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 6 月～2026 年 3 月として算出しています。

荒らし行為	126,803	14.62
不謹慎	67,690	7.81
差別・ヘイト	64,886	7.48
わいせつ・暴力	36,225	4.18
関連性なし	30,351	3.50
個人情報	1,994	0.23
権利侵害	1,221	0.14
法令違反	731	0.08
商用・宣伝	340	0.04
偽・誤情報	228	0.03
自殺・危害予告	121	0.01
なりすまし	12	0.00
総合判断	9	0.00
合計	867,245	100.00

なお、上記のとおりコンテンツモデレーションとして投稿を削除した場合には、すべて削除の通知措置を講じていますが、サービスの仕様により生じた一律の削除等については、通知等の措置を講じないことについて正当な理由があるものとして、通知を行っておりません。具体的には、親コメントが削除されたことにより自分が投稿した返信コメントも削除された場合、YID 自体の削除により Yahoo! ニュースに投稿されたコメントも削除された場合、記事の削除や非公開に伴いコメントも削除された場合が該当します¹³⁵。

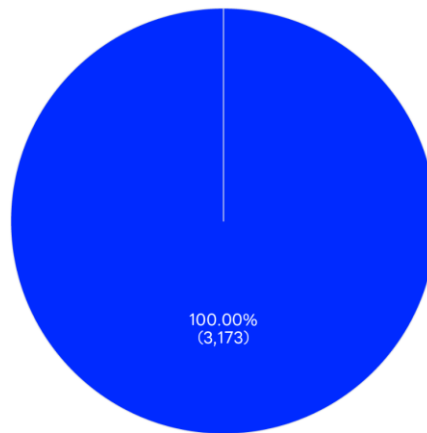
(2) 投稿停止件数・投稿停止通知件数

2025 年度の投稿停止件数は 3,173 件でした。投稿停止通知件数¹³⁶は 2,572 件でした。投稿停止および投稿停止通知理由は、すべて、コメントポリシーに違反したコメント投稿を繰り返したためでした。

¹³⁵ 各措置の詳細は下記をご確認ください。

<https://news.yahoo.co.jp/info/comment-policy>

¹³⁶ 投稿停止を行うとともに投稿者へ通知が行われる仕様です。ヤフコメにおける投稿停止通知開始は 5 月 12 日のため、同日以前を除き、通知件数は投稿停止件数と同値となります。ただし、本レポートでは対象期間を 2025 年 6 月～2026 年 3 月として算出しています。



■ コメントポリシーに違反したコメント投稿を繰り返したため

なお、ヤフコメでは、AI 等による自動での投稿停止は行っていません。

また、投稿停止通知件数を通知理由別にみると次のとおりです。

投稿停止通知理由	件数(件)	構成比(%)
コメントポリシーに違反したコメント投稿を繰り返したため	2,572	100.00
合計	2,572	100.00

なお、上記のとおりコンテンツモデレーションとして投稿を削除した場合には、すべて削除の通知措置を講じていますが、サービスの仕様により生じた一律の削除等については、通知等の措置を講じないことについて正当な理由があるものとして、通知を行っておりません。具体的には、投稿停止措置を受けたユーザーの登録電話番号を基に、同じ登録電話番号を持つアカウントについても投稿停止措置を行うものが該当します¹³⁷。

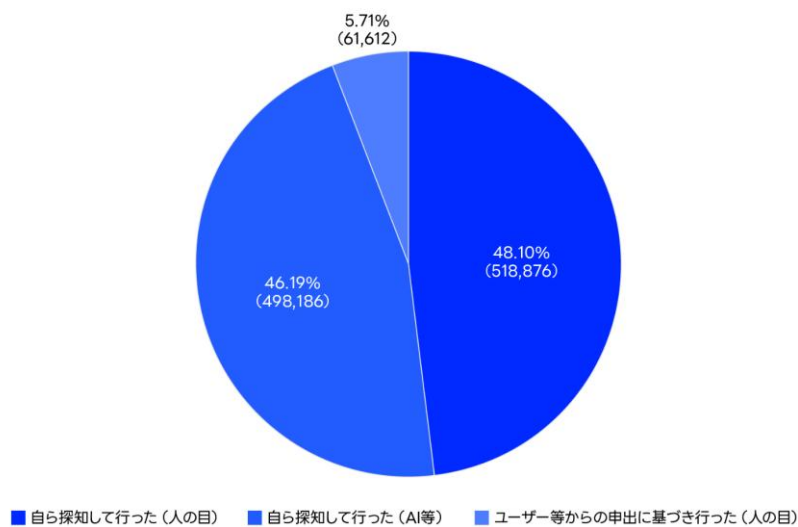
3. 削除・投稿停止の端緒別の状況

¹³⁷ 各措置の詳細は下記をご確認ください。

<https://news.yahoo.co.jp/info/comment-policy>

ヤフコメでは、投稿ごとに「非表示・報告ボタン」を設置し、コメントポリシーに違反すると思われる投稿等についてユーザーからの情報を幅広く受け付けており、違反報告があった投稿等の全件について専門チームのスタッフが違反の有無を判定しています。また、AI等と専門チームのスタッフによる「人の目」を組み合わせ、自ら違反を探知して削除を行っています¹³⁸。

このように、投稿の削除はユーザー等からの違反報告を受けて行う場合¹³⁹とLINEヤフー自らが探知して行う場合があり、この端緒の別について2025年度の状況は次のとおりです。



端緒	件数(件)	構成比(%)
自ら探知して行った(人の目)	518,876	48.10
自ら探知して行った(AI等)	498,186	46.19
ユーザー等からの申出に基づき行った(人の目)	61,612	5.71
合計	1,078,674	100.00

¹³⁸ ヤフコメでは、プロフィールにも「非表示・報告」ボタンを設置し、同様の対応を行っています。

¹³⁹ 2024年度は、ユーザーが行った違反報告だけではなく、LINEヤフーのAIが自動で違反申告を行った場合も含まれていましたが2025年度は含んでおりません。また、「1. 被侵害者等からの請求に関する対応状況」で公表した削除件数および「8. オンラインフォームの受付・対応状況」で公表した削除件数も含んでいます。

なお、ヤフコメではユーザー等からは投稿の削除に関する違反報告のみを受け付けており、投稿停止措置については、全件、LINE ヤフー自らの探知により行っています

4. ユーザー等からの違反報告に関するデータ

(1) ユーザー等からの違反報告の状況

2025年度のユーザー等からの違反報告件数¹⁴⁰は2,924,650件¹⁴¹でした。

ユーザー等からの違反報告件数を報告理由別にみると次のとおりです。

ユーザーが選択した報告理由	件数(件)	構成比(%)
誹謗中傷・いやがらせ	865,084	29.58
不謹慎	628,652	21.49
差別・ヘイト	429,480	14.68
偽・誤情報	427,896	14.63
関連性なし・薄い	165,190	5.65
いたずら・スパム・重複投稿	158,126	5.41
わいせつ・暴力	92,352	3.16
商用・宣伝	36,837	1.26
個人情報・法令違反	26,012	0.89
その他	95,021	3.25
合計	2,924,650	100.00

2025年度の違反報告件数で選択された理由は、「誹謗中傷・いやがらせ」や「不謹慎」が多くなっています。

(2) ユーザー等からの違反報告に関する対応状況

前述のとおり、ユーザー等から少なくとも1件以上違反報告があった投稿の全件について専門チームのスタッフが違反の有無を判定しています。判定の結果、削除に至

¹⁴⁰ なお、ユーザーが行った違反報告だけではなく、LINE ヤフーのAIが自動で違反申告を行った件数も含まれます。

¹⁴¹ 参考として、少なくとも1件以上違反報告があった投稿の数は、2,071,889件でした。

った投稿の件数及び至らなかった投稿の件数、それぞれの判定理由は次のとおりです。

判定の結果	件数(件)	構成比 ¹⁴² (%)
削除に至った(理由別)	61,612	2.79
誹謗中傷	15,252	(24.76)
荒らし行為	14,221	(23.08)
不謹慎	10,246	(16.63)
関連性なし	8,847	(14.36)
わいせつ・暴力	5,821	(9.45)
差別・ヘイト	5,560	(9.02)
個人情報	632	(1.03)
権利侵害	420	(0.68)
法令違反	334	(0.54)
商用・宣伝	114	(0.19)
偽・誤情報	91	(0.15)
自殺・危害予告	50	(0.08)
なりすまし	15	(0.02)
総合判断	9	(0.01)
削除に至らなかった(理由別)	2,147,472	97.21
コメントおよびプロフィールが、情プラ法第26条第1項所定の削除基準に該当しなかったため	2,147,472	(100.00)
合計	2,209,084	100.00

また、LINE ヤフーでは違反報告を受けてから削除までの所要時間を自己評価として公表しております。2025年4月から2026年3月に1回でも違反報告のあった投稿・プロフィールは、61,487件¹⁴³でした。受理から削除までの所要時間¹⁴⁴は次のとおりです。

所要時間	件数(件)	構成比(%)
------	-------	--------

¹⁴² 端数により生じた微差を「誹謗中傷」の構成比で調整しています。また、()内は各小計に対する構成比です。

¹⁴³ 削除に至った件数は61,651件に対し、1回でも違反報告のあった投稿・プロフィールは61,487件となっております。前者は投稿された日時で集計、後者は違反申告された日時で集計しているため差分が生じています。

¹⁴⁴ 最後に違反報告を受けてから削除までの所要時間を算出しています。

2 時間未満	55,700	90.59
2-8 時間未満	3,640	5.92
8-24 時間未満	734	1.19
24 時間以上	1,413	2.30
合計	61,487	100.00

このように、2 時間未満の削除が多く、迅速に対応ができています。

5. LINE ヤフー自らが探知して行った削除

ヤフコメは、ユーザー等からの違反報告が寄せられていない投稿についても、24 時間 365 日、自ら違反の探知及び削除を行っています。違反の探知及び投稿の削除は、AI 等により自動で行う場合と、専門チームのスタッフによる巡回パトロールにより探知して行う場合があります。

ヤフコメでは、AI 等によりコメントポリシーに抵触していることが明白であると判断される投稿について自動削除を行っています。違反投稿の自動削除に関する AI モデルとしては、過度な批判や誹謗中傷、差別、わいせつや暴力的等のガイドラインの項目に違反するおそれのあるコメントを AI が点数化する「**不適切投稿判定モデル**」を使用しています。その他、キーワード判定により特定の文言が使用されている投稿の自動削除も併用しています。これらの自動削除は、いずれも投稿から概ね数秒以内に行われます。

また、伏せ字やスラングが含まれる投稿等、AI 等によるコメントポリシーに抵触しているか否かの判定が困難な場合は、専門チームのスタッフの「人の目」により違反であるかどうかの判定を行っています。

LINE ヤフー自らが探知して行った投稿削除数¹⁴⁵を削除理由別にみると次のとおりです。

削除理由	件数(件)	構成比(%)
不適切投稿判定モデル(AI 等)	280,502	27.58

¹⁴⁵ プロフィールリセットは含みません。

キーワード判定(AI 等)	217,684	21.40
誹謗中傷	161,640	15.89
荒らし行為	143,124	14.07
不謹慎	73,122	7.19
差別・ヘイト	69,662	6.85
わいせつ・暴力	38,730	3.81
関連性なし	28,882	2.84
個人情報	1,603	0.16
権利侵害	924	0.09
法令違反	641	0.06
商用・宣伝	282	0.03
偽・誤情報	176	0.02
自殺・危害予告	89	0.01
総合判断	1	0.00
合計	1,017,062	100.00

AI 等による削除が 48.98%、人の目による削除が 51.02%であり、2(1)で記載した、全体の削除件数の削除理由別と同様に AI 等により不適切等と判定された投稿の自動削除が多く、次いで人の目による「誹謗中傷」「荒らし行為」が多くなっています。

6. コメント欄非表示措置

ヤフコメでは、一定以上の投稿数があるコメント欄を対象に、AI が判定した違反投稿数等の基準に従い、コメント欄全体を自動的に非表示とする機能を導入¹⁴⁶しています。

¹⁴⁶ [Yahoo!ニュース コメント欄の健全化に向けた取り組みを強化(2021 年 10 月 19 日)]

https://www.lycorp.co.jp/news/archive/Y/ja/ja20211019_A.pdf

2025 年度に非表示措置が実施された件数は 49 件(1 日あたりの平均¹⁴⁷0.13 件)でした。他期と比較し、4-6 月期および 7-9 月期は全体的には加害者へのバッシングが集まりやすい事件が多く、コメント欄非表示措置対応も多く発生しています。

[ヤフコメ] コメント欄が非表示となった件数

四半期 (2025 年度)	コメント欄非表示措置件数(件)
4-6 月期	20
7-9 月期	16
10-12 月期	9
1-3 月期	4
年度合計	49

7. 異議申立ての状況

削除や投稿停止措置に対して疑問・意見等があるユーザーからは、ヘルプ・問い合わせページのフォームにより問い合わせを受け付けています。

(1) 削除に対する異議申立て

2025 年度における削除に対する異議申立て件数と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

項目	件数(件)
削除に対する異議申立て(うち削除が AI 等によるもの)	150(76)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち削除が AI 等によるもの)	0(0)

2025 年度において投稿削除に対する異議申立ての件数は 150 件(月平均 12.5 件)であり、投稿削除に対する異議申立ての割合は 0.01%です。

(2) 投稿停止に対する異議申立て

¹⁴⁷ コメント可能な記事数を分母、コメント欄非表示措置の件数を分子として計算しています。なお 2025 年度よりコメント可能な記事数およびコメント欄非表示措置の件数は「みんなの意見」分も含みます。

2025年度における投稿停止に対する異議申立ての件数と、異議申立てを受けて再度判定を行った結果撤回に至った件数は、次のとおりです。

項目	件数(件)
投稿停止に対する異議申立て(うち投稿停止が AI 等によるもの ¹⁴⁸)	292(0)
異議申立てを受けて撤回に至った(うち投稿停止が AI 等によるもの)	2(0)

2025年度において投稿停止に対する異議申立ての件数は292件(月平均24.3件)であり、投稿停止に対する異議申立ての割合は9.21%でした。

8. オンラインフォームの受付・対応状況

ヤフコメは、2025年6月2日より、オンラインフォームにおいて権利侵害投稿に対する削除請求を受け付けています¹⁴⁹。以下のデータは、同日から2026年3月末日までの期間で抽出しています。

(1) 受付状況

申出の受付件数¹⁵⁰を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	126	26.92
名誉感情	125	26.71
私生活の平穏	84	17.95
プライバシー	35	7.48
氏名権	26	5.56
営業上の利益	12	2.56
肖像権	11	2.35
パブリシティ権	6	1.28

¹⁴⁸ ヤフコメでは、AI等による自動での投稿停止措置は行っていません。

¹⁴⁹ ヤフコメは情ブラ法の大規模なプラットフォーム事業者としての義務は負いませんが、対応の迅速化のため、他の対象サービスと同一のフォームにて請求を受け付けています。

<https://support.yahoo-net.jp/formly/s/diridp-act>

¹⁵⁰ 対象投稿が特定不可の場合、権利者ご自身ではなく第三者からの申出の場合等は、情ブラ法第22条第1項に定める申出に該当しないため集計対象外です。なお、対象期間において、特定不可となった案件は124件でした。

著作権侵害および著作隣接権	5	1.07
その他	38	8.12
合計	468	100.00

(2) 一定期間内の対応状況

一定期間内に削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ¹⁵¹ (%)
名誉権	39	27.09
名誉感情	25	17.36
私生活の平穏	22	15.28
プライバシー	18	12.50
氏名権	14	9.72
営業上の利益	9	6.25
肖像権	7	4.86
著作権侵害および著作隣接権	2	1.39
パブリシティ権	1	0.69
その他	7	4.86
合計	144	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。なお、削除しない旨を通知したものの中には、LINE ヤフーが申出を確認した時点で既に対象投稿が削除済みあるいは閲覧できない状態になっていた場合を含みます¹⁵²。

申出理由	件数(件)	構成比 ¹⁵³ (%)
------	-------	------------------------

¹⁵¹ 端数により生じた微差を「名誉権」の構成比で調整しています。

¹⁵² 一定期間内の対応と一定期間を超えた場合の対応とをあわせて、削除済み等の場合は18件でした。

¹⁵³ 端数により生じた微差を「私生活の平穏」の構成比で調整しています。

私生活の平穩	18	26.08
名誉権	17	24.64
名誉感情	16	23.19
プライバシー	7	10.14
氏名権	3	4.35
パブリシティ権	2	2.90
肖像権	1	1.45
著作権侵害および著作隣接権	1	1.45
その他	4	5.80
合計	69	100.00

なお、判断結果を通知できなかったもの¹⁵⁴は、オンラインフォームに入力されたメールアドレスが不達であった場合のみでした。

(3) 一定期間を超えた場合の対応状況

一定期間を超えて削除する旨の通知をした件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉権	1	50.00
その他	1	50.00
合計	2	100.00

また、削除しない旨およびその理由を通知した件数を申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比 ¹⁵⁵ (%)
名誉権	23	31.08

¹⁵⁴ 「通知しないことについて正当な理由があるとき」(情プラ法第25条第1項ただし書)に該当します。

¹⁵⁵ 端数により生じた微差を「その他」の構成比で調整しています。

名誉感情	23	31.08
私生活の平穩	13	17.57
パブリシティ権	2	2.70
著作権侵害および著作隣接権	2	2.70
プライバシー	1	1.35
氏名権	1	1.35
営業上の利益	1	1.35
その他	8	10.82
合計	74	100.00

(4) 第 25 条第 2 項第 1 号～第 3 号の対応状況

一定期間を超えたものは、すべて、侵害情報調査専門員に調査を行わせた(法第 25 条第 2 項第 2 号)案件で、同項第 1 号及び同項第 3 号に該当するものではありませんでした。申出理由別にみると次のとおりです。

申出理由	件数(件)	構成比(%)
名誉感情	81	35.22
名誉権	64	27.83
私生活の平穩	43	18.70
プライバシー	7	3.04
氏名権	6	2.61
肖像権	2	0.87
パブリシティ権	2	0.87
著作権侵害および著作隣接権	2	0.87
営業上の利益	2	0.87
その他	21	9.13
合計	230	100.00

【共通編】

自己評価

LINE ヤフーは、情プラ法第 5 章に基づく各対応について、以下のとおり評価基準を定め、当該基準に基づき自己評価を行います。

なお、自己評価は 2025 年度が初めての実施となりますが、今後、自己評価にあたっては、客観性および透明性の確保に努めるとともに、有識者やユーザーの皆様等外部からのご指摘も踏まえ、継続的な改善を検討してまいります。

また、対象サービス間で共通する事項についてはまとめて記載し、個別に異なる事項については「評価」の項目内でサービスごとに区別して記載しています。

1. オンラインフォーム

2025 年度より、LINE ヤフーは、法第 22 条所定のオンラインフォームを設置して¹⁵⁶、対象サービスにおける権利侵害投稿に対する削除請求を受け付けています。なお、オンラインフォームについては、利用状況や外部からのご指摘等も踏まえ、継続的な改善に取り組んでいきます。

(1) 申出方法

次のとおり、申出者のアクセス容易性および利便性の観点から自己評価を行います。

¹⁵⁶ 各サービスの受付開始時期につきましては、各サービス編の「オンラインフォームの受付・対応状況」をご確認ください。

LINE ヤフー - 情報流通プラットフォーム対処法に関する権利侵害投稿削除申出フォーム
<https://support.yahoo-net.jp/formly/s/diridp-act>

評価基準	評価
<p>申出者のアクセス容易性を考慮した設計、また、申出者が必要十分な情報提供を行える設計としているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オンラインフォームでの申出は、当社アカウントへのログイン等は不要であり、当社サービスの利用がない方からでも申出可能である。 また、いずれのサービスにおいても、投稿ごとに設置している違反報告フォームの入力画面に、オンラインフォームの案内およびリンクを掲載している。これにより、ユーザーは、違反と思われる投稿を発見した際にまず利用する簡易な違反報告から、1クリックでオンラインフォームに遷移することができる。 加えて、以下のサービスでは情プラ法第26条第1項柱書に定める基準やヘルプページにおいてもオンラインフォームへの案内を行っており、複数の導線を設けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知恵袋：利用のルール ・ ファイナンス掲示板：「禁止行為、投稿に注意が必要な内容について」ページ ・ VOOM：ヘルプページ ・ ヤフコメ：ヤフコメポリシーおよびヘルプページ <p>以上から、申出者のアクセス容易性を考慮した設計といえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オンラインフォームの「削除を希望する投稿に関する情報」欄の文字制限は1000字、「権利が侵害されたとする理由」欄の文字制限は500字となっており、侵害情報送信防止措置の要否を判断するために必要十分な事実関係や主張を記載できる分量を確保できているといえる。

評価基準	評価
<p>申出者のプライバシーに配慮し不合理な不利益を与えない設計としているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 申出内容は LINE ヤフー内のシステムにおいて LINE ヤフー社員のみが閲覧可能な形で管理しており、特にプライバシーの点で配慮が必要な情報は法令やプライバシーポリシー等に従い適切に取り扱っており、申出者に配慮した設計としている。 ● 申出内容は申出内容の判断のみに使用しており、申出をした事実や申出内容等を LINE ヤフーサービスの利用履歴や登録情報等の他のデータに紐づけることもしていない。当該ユーザーが申出以後のサービス利用に当たって不利益を与えないよう配慮した設計としている。
<p>申出を受領した日時を申出者に明示しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 申出完了画面に受領日時を記載するとともに、申出の受領時にはその旨を通知する自動応答メールを送信しており、申出者は当該メールの受信日時を確認できる。以上により、申出を受領した日時を複数手段で申出者に明示している。

(2) 削除実施状況

次のとおり、削除実施状況の適切性という観点から自己評価を行います。

評価基準	評価
<p>申出について正確な判断を行っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応にあたっては、判断基準を明確化したマニュアルの整備や、専門部署(弁護士を含む)へのエスカレーションを含む対応フローの構築を行っており、正確な判断を行うための体制を整備できているといえる。
<p>第 25 条第 2 項第 1 号～第 3 号の該当性判断は適切に行われているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該判断は社内の専門部署において、あらかじめ定めた基準に基づき実施している。 ● 特に、第 2 号該当性判断は、専門員を含む関係者により協議のうえ策定したエスカレーション基準および速やかな連携フローに基づき実施している。 ● なお、2025 年度においては第 3 号該当事案は発生しなかったが、仮に発生した場合には専門部署を含む関係者で都度協議のうえ該当性を判断する体制としている。 ● したがって、あらかじめ定めた基準により該当性判断が難しい場合には、法令について専門的な知見を有する専門員を含む関係者で第 2 号・3 号の該当性を慎重に判断しているため、各判断は適切に行われているといえる。

(3) 各通知に記載する理由

次のとおり、各通知に記載する理由について、申出者にとって理解しやすく、適切な再申告に資する内容となっているか、また、その具体性が十分であるかという観点から、自己評価を行います。

評価基準	評価
オンライン窓口への申出に対して削除等を行わなかった場合に申出者に通知する、削除しなかった理由について、再申告があった場合に、当社が侵害情報送信防止措置の要否を判断するために必要と考える情報を、申出者が容易に理解できる内容で提示しているか。	<ul style="list-style-type: none">● 権利侵害性について検討したが削除相当の判断に至らなかった場合は、その旨を伝えるとともに、追加提示が望まれる情報がある場合はその内容も明示している。● 以上から、再申告があった場合に、LINE ヤフーが送信防止措置の適否を判断するために必要と考える情報を、申出者が容易に理解できる態様で提示しているといえる。● なお、形式面の不備があり受付対象外となった申出についても、投稿の特定不可、対象外サービスへの申出等、具体的な不備の内容を提示している。
オンライン窓口への申出に対して「やむを得ない理由」で1週間以内に対応を行わない場合に申出者に通知する、「やむを得ない理由」(法25条2項3号)について、個々の事	<ul style="list-style-type: none">● 2025年度においては第3号該当事案は発生しなかったが、仮に発生した場合には専門部署を含む関係者で都度協議のうえ該当性を判断する体制としている。

評価基準	評価
象の区別がつく程度に具体的であるか。	

2. 発信者に対する通知に記載する措置理由

次のとおり、投稿者への送信防止措置の通知における措置理由の記載について、措置理由の明確性および適切な異議申立てへの寄与の観点から、自己評価を行います。

評価基準	評価
送信防止措置の実施に関する基準の該当性を明示しているか	<ul style="list-style-type: none"> ● いずれのサービスにおいても、情プラ法 26 条 1 項所定の送信防止措置基準に沿って措置理由を通知している。具体的には、投稿の削除の場合は、「個人情報の掲載」、「誹謗中傷・過度な批判的表現」等、措置理由を送信防止措置基準の類型ごとに区別して通知している。また、複数回の違反を理由とした投稿停止であれば、その旨を明記している。

評価基準	評価
<p>法第 26 条第 1 項第 3 号に基づき、緊急の必要により、通常予測することができないため公表している基準に明示していない対象について送信防止措置を行った場合に、法第 26 条第 3 項に基づき、速やかにかつ具体的な内容で基準を変更し、その旨をユーザーにも明示したか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2025 年度において法第 26 条第 1 項第 3 号に基づき送信防止措置を行った事案は生じなかった。 ● 仮に当該事案が生じた場合は、専門部署を含む関係者で都度協議のうえ、現在の基準と同程度の粒度の新しい違反項目を追加する体制としている。

3. 違反に対する人的・技術的体制の整備

次のとおり、違反に対する人的・技術的体制について量的および質的十分性という観点から自己評価を行います。

評価基準	評価
<p>送信防止措置を的確かつ迅速に実施するため</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一次対応については 24 時間 365 日体制で知恵袋・フィナンシャル掲示板・ヤフコメについては 76 人体制、オープンチャットと VROOM については 69 人体制¹⁵⁷で対応しており、

¹⁵⁷ いずれも投稿の削除等の監視業務を専門とする人員数をいいます。

評価基準	評価
<p>に必要な人的体制を確保できているか。</p>	<p>例年と比較して投稿数に著しい変動はなく、十分な体制を確保できているといえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一次対応者が判断に迷う場合等、必要に応じて各サービスの投稿ガイドライン等の制定・改廃の担当部署 22 名や法的判断を担う専門部署に所属する 13 名へのエスカレーションも実施しており、送信防止措置を的確に実施するために必要な人的体制を確保できている。
<p>送信防止措置を講じる個人の専門性向上および組織としての判断の一貫性確保のための取組を十分に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門チームは日本語が堪能かつ日本の文化について理解の深い者から構成されている。また、配属時に 1 ヶ月以上の基礎研修(座学、モニタリング実習、OJT)を受けることとしており、教育体制も充実している。さらに、日本の風俗・社会に関する問題(差別問題等)については、法的判断を行う専門部門から情報共有を行っている。また、当該専門部署は、必要に応じて社外の有識者へのヒアリングを行っている。 ● 社内の運用マニュアルを作成することで担当者ごとに判断のばらつきが生じないように取り組んでいる。さらに違反該当性について疑義が生じた場合は、専門チーム内での協議を経て複眼的な判断を行うとともに、必要に応じて、各サービスの投稿ガイドライン等の制定・改廃を担当する者や法的判断を行う専門部門へのエスカレーションを実施している。 ● 以上から、専門チームの専門性および判断の一貫性確保のための取組を十分に行っているといえる。

評価基準	評価
<p>専門員は、法第 25 条第 2 項第 2 号に基づき申出に対する判断を行うにとどまらず、送信防止措置を講じる個人及び組織に対して、知見の共有等を行い送信防止措置の判断の正確性・一貫性確保の一助となっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門員は、削除基準の解釈、修正の必要性及び過去の対応の妥当性等について、専門員間で定期的に会合を開催し、対応事例の共有や判断基準に関する認識のすり合わせを行うほか、専門チームと意見交換を行う等知見の共有を行い、送信防止措置の判断の正確性・一貫性を確保している。
<p>AI 等の技術的措置を適切な方法で活用しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各サービスの性質に応じて、自動削除や人の目による削除の判断補助等に AI 等を利用し、また AI 等のモデルについても適時に見直しを行うことで、適切に活用している。(詳細は【共通編】違反投稿の監視体制> 2. AI の仕組みを参照。) ● 一方で、発信者の表現の自由にも配慮する必要があることから、偽・誤情報や名誉毀損に関する投稿等において特に慎重な判断や専門的な判断を要する場合は、必要に応じて専門部門へのエスカレーションも行い人が確認する等、AI と人の目を適切に使い分けている。

評価基準	評価
AI等の技術的措置の正確性向上のための取組みを行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて見直しを行い、正確性向上のための取組みを行っている。(詳細は【共通編】違反投稿の監視体制>2. AIの仕組みを参照。)

4. 削除基準

次のとおり、送信防止措置に関する基準について、ユーザーにとっての分かりやすさおよび予測可能性の確保の観点から、自己評価を行います。

評価基準	評価
一般ユーザーから見て分かりやすい内容になっているか	<ul style="list-style-type: none"> ● いずれのサービスにおいても、各違反項目に該当する具体例を複数記載することで、ユーザーが削除対象となる投稿の範囲を理解できるようにしている。例えば名誉毀損については、相手が著名人や企業、団体の場合も、根拠のない批判や度を過ぎた批判を行った場合、名誉毀損や侮辱に該

評価基準	評価
	<p>当する可能性がある旨を記載する等、平易な用語を用いて分かりやすい具体例を提示する工夫を行っている。</p>
<p>法第 26 条第 4 項に基づき、基準に従って送信防止措置を講じた事例のうち、ユーザーの参考になるものを整理した資料の公表に努めているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 前述のとおり法第 26 条第 1 項に定める基準において具体例を記載しており、送信防止措置の対象となる事例のうちユーザーの参考になるものを常に公表している。

5. 日本の利用者に関する送信防止措置の実施状況および違法・有害情報の流通状況

次のとおり、送信防止措置の実施状況および違法・有害情報の流通状況について、対応の迅速性および判断の正確性の観点から、自己評価を行います。

評価基準	評価
<p>流通する違法・有害情報(送信防止措置基準に該当する投稿)について、迅速な対応を行っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● すべてのサービスにおいて、自ら探知して行った削除数が、違反報告を受けて行った削除数を上回っている(詳細は各サービス編「削除・投稿停止の端緒別の状況」を参照)。このように、通報を待たずに送信防止措置を行う場合が大半であり、ユーザーの目に触れる機会が少ないうちに迅速に送信防止措置が行われていると評価する。

評価基準	評価
<p>また、違法・有害情報の流通を短時間に抑えているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● さらに、通報を受けて削除する場合についても、通報を受けてから削除までにかかった時間¹⁵⁸は、下記のようにいずれのサービスも 80%以上が 2 時間以内に対応を完了している。よって、送信防止措置について迅速な対応を行っており、違法・有害情報の流通抑止に大きく寄与しているといえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知恵袋：「2 時間未満」97.97%、「2～8 時間未満」1.88%、「8～24 時間未満」0.15%、「24 時間以上」0.00% ・ ファイナンス掲示板：「2 時間未満」84.67%、「2～8 時間未満」9.41%、「8～24 時間未満」4.35%、「24 時間未満」1.57% ・ オープンチャット：「2 時間未満」99.86%、「2～8 時間未満」0.12%、「8～24 時間未満」0.00%、「24 時間以上」0.02% ・ VOOM：「2 時間未満」97.52%、「2～8 時間未満」2.29%、「8～24 時間未満」0.08%、「24 時間以上」0.11% ・ ヤフコメ：「2 時間未満」90.59%、「2～8 時間未満」5.92%、「8～24 時間未満」1.19%、「24 時間以上」2.30% ● なお、慎重な判断や専門的な判断を要する投稿については、必要に応じて専門部門へのエスカレーションを行い、適切に検討を行うべきであり、必ずしも「2 時間以内」を

¹⁵⁸ オープンチャットは 2025 年 10 月以降のデータを対象として算出しています。それ以外のサービスについては、2025 年度のデータを利用して算出しています。

評価基準	評価
	100%とすることが適当ではないことに留意が必要である。
送信防止措置について正確な判断を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 送信防止措置のうち、送信防止措置に対する異議申立てを受けて措置内容の見直しを行い、措置が適切でなかったとLINE ヤフーが判断した割合¹⁵⁹は以下のとおり非常に低い数値であり、送信防止措置について一定程度正確な判断を行っているといえる。 ・ 知恵袋：削除 0.01%、投稿停止 0.03% ・ ファイナンス掲示板：削除 0.001%、投稿停止 0.00% ・ オープンチャット：削除 0.00002%、投稿停止 0.01% ・ VOOM：削除 0.003%、投稿停止 0.02% ・ ヤフコメ：削除 0.00%、投稿停止 0.06%

¹⁵⁹ 削除件数または投稿停止件数を分母、異議申立てを受けて撤回に至った件数を分子として計算しています。また、端数は四捨五入しています。

違反投稿の監視体制

LINE ヤフーでは、AI と専門チームによる「人の目」を組み合わせて違反投稿の監視を行っています。以下では、違反投稿の監視体制について説明します。

1. 削除及び投稿停止の基準の改定(対象サービス共通)

2025 年 3 月に各サービスの削除及び投稿停止の基準を横断的に見直し、①「誹謗中傷」「差別的な発言」「法令違反」等、各サービスにおいて共通して発生し得る行為について禁止の内容及び記載文言を可能な限り共通化するとともに、②一部のサービスにおいては削除等の基準が複数の利用規約等にまたがって存在していたことから、各サービスごとに一つの規約に一本化しました。

また、各禁止事項については、総務省が公表した違法情報ガイドラインを参考にし、サービスごとに発生しうる類型を選定して反映させています。

各禁止事項については、平易な日本語で記載する等、誰にでも分かりやすい内容となっていますが、本改定にあたっては、禁止事項の説明や具体例をより充実させるとともに、サービスの仕様により削除が行われる場合がある旨も明記し、ユーザーが削除対象となる投稿の範囲や違反した場合の対応について、より一層理解しやすくなったものと考えています。

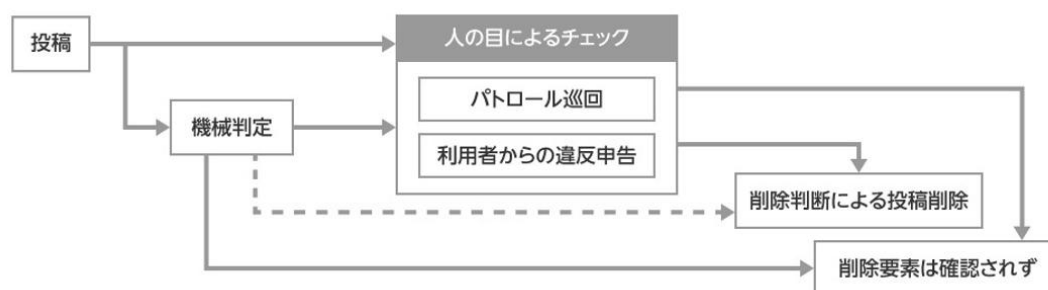
今後も社会情勢にあわせて基準の見直しを行い、ユーザーが安心して利用できる環境の整備に努めていきます。

2. AI の仕組み

LINE ヤフーでは、以下のとおり自動削除や人の目による削除の判断補助等に AI 等を利用しています。これら AI 等のモデルについては、以下に記載するように、ユーザーからの評価や AI モデルの学習データの充実や作成したデータの正答率の検証等を踏まえ、適時に見直しを行う等正確性の向上に取り組んでいます。

<知恵袋・ファイナンス掲示板・ヤフコメ>

上記3つのサービスでは、LINE ヤフーが独自に開発したディープラーニングに特化したスーパーコンピューター「kukai」等を活用した機械学習システムを導入し、迅速に禁止行為に抵触する投稿を探知できる仕組みを構築しています。具体的な活用方法はサービスによって異なりますが、機械学習システムにより投稿が禁止事項に抵触する内容である確率を判定し、抵触の可能性がある場合は、自動削除を行ったり、専門チームによる確認の優先的なフローに移されることとなっています。「kukai」は、膨大な投稿情報から削除すべき投稿を学習し、今この時も精度を向上させています。



(1) 知恵袋

【低品質投稿判定モデル】

低品質投稿判定モデルは、利用のルールにおいて禁止事項として定められているわいせつ等の投稿や質問/回答になっていない・文意をなさない投稿、過度な批判や誹謗中傷・他人を不快にさせる内容の投稿の判定を行うものです。

同モデルでは、低品質投稿のスコアを算出し、スコアが一定の閾値以下の投稿については、自動的に回答の非表示措置を行うほか、専門チームによる優先的な確認フローへの移送やランキング表示からの除外などの措置が行われています。

2025年度においても、表現の自由と禁止事項の該当性のバランスを踏まえた適切な判定ができるよう、モデルの性能を向上させております。

【違反投稿判定モデル】

低品質投稿判定モデルが利用のルールのうち「誹謗中傷等」「文意不明」「わいせつな内容の投稿」の判定に特化しているのに対し、違反投稿判定モデルは、知恵袋の投稿におけるすべての禁止行為への違反を対象として判定を行っています。これにより、低品質投稿判定モデルにおける判定を補完して専門チームによる優先的な確認フローへの移送等を行っています。

(2) ファイナンス掲示板

ファイナンス掲示板では、2024年度より生成AIを利用し、わいせつな内容や暴力的な内容と判断された画像を自動で削除する仕組みを導入しました。また、外部のwebサイトやSNSへ誘導する等広告目的である可能性を機械学習により点数化し、その点数が一定の基準を超えた投稿を自動で削除する取組を開始しました。

さらに2025年度には、機械学習の検知モデルを発展させ、禁止項目における「商用・宣伝」に該当する投稿を機械学習で検知し、自動で削除を行うモデルを導入しました。生成AIを用いた画像自動削除でも機能追加を行い、著作権および肖像権の侵害となりえる画像も検知可能になりました。これらの取り組みにより、違反投稿の迅速な削除が実現し、より複雑な判断を要する事案に専門チームが専念できるようになると考えています。これからも、必要に応じて使用するモデルの調整等を検討していきます。

(3) ヤフコメ

ヤフコメでは「不適切投稿判定モデル」をコメントポリシー違反による投稿の自動削除に利用しているほか、これに「建設的コメント順位付けモデル」「コメント多様化モデル」を加えた3種類のモデルにより「おすすめ順」における投稿の表示順序を決定しています。また、「コメント添削モデル」により、ユーザーのコメント投稿前に表現の見直しを提案し、不快感を与える恐れのない表現への改善を促すことで、コメント欄のさらなる健全化を目指しています。

【不適切投稿判定モデル】

不適切投稿判定モデルは、過度な批判や誹謗中傷、差別、わいせつや暴力的などの

コメントポリシーの各項目に違反するおそれのあるコメントをAIが点数化するモデルです。同モデルは、算出したコメントの点数をもとに、コメントの掲載順位の変更や、自動的な削除などを行います。

モデルの生成方法については、専門チームが「人の目」により判定を行った結果を正解データとして学習し、その判断を再現することとしていますが、学習の際には、LINEヤフーが持つ大規模テキストデータを言語理解力向上のためにあわせて活用しています。

【建設的コメント順位付けモデル】

建設的コメント順位付けモデルは、建設的であると考えられるコメントを上部の順位に表示させるためのモデルです。同モデルでは、「自分の意見を元に議論を喚起する発言」「客観的で、必要であれば根拠を提示している発言」といった評価軸でスコアを算出しています。

具体的には、一定数の一般ユーザーの集団に対し、「建設的コメントとなる条件」の定義を示し、「建設的コメント」を選択できなかったユーザーのみ対象から除外したうえで、記事とコメントのセット(1つの記事に対しコメントが複数個あるもの)を与え、建設的か否かの判断を行ってもらい、その正解データを利用して生成しています。

また、モデル生成後も、効果検証を実施し、導入前と比して、社内担当者の目から見ても適切な並び順となっているか、コメント欄の閲覧者が増えているのか等を参考に、定量的な指標をベースとして、効果の有無を測定しています。

【コメント多様化モデル】

コメント多様化モデルは、建設的かつ多くの人が共感している意見だけでなく、異なる視点の意見など、より多様なコメントを上位に表示させるためのモデルです。

具体的には、まず同一の記事に対して投稿された各コメントの意味・内容を把握したうえで、それぞれの内容の類似度によってグループ分けし、各グループから抽出した代表的なコメントをコメント欄の上位に表示します。

【コメント添削モデル】

ヤフコメでは、2024年9月に、コメントポリシーに違反するコメントや、違反には該当しないものの閲覧者が不快に感じる表現に対して、独自 AI「コメント添削モデル」がユーザーのコメント投稿完了前に見直しを提案する機能を導入しました¹⁶⁰。これにより、ユーザーの表現の自由を尊重しつつ、該当の記事にまつわる方々や他のユーザーが不快と感じる恐れのない表現への改善を促し、コメント欄のさらなる健全化を目指しています。

具体的には、「Yahoo!ニュース コメントポリシーに違反するコメント」や、「不快と感じる可能性のあるコメント」を投稿しようとした場合に、該当箇所をハイライトで示します。この時点では、コメントの投稿は完了しておらず、「コメント入力に戻る」ボタンを押下するとコメントの再編集画面(コメント投稿フォーム)が表示されます。再編集画面では、コメント投稿フォームの下に「コメント添削モデル」が指摘した該当箇所すべてが表示されます。必要に応じてコメント本文の見直しを行い「投稿する」ボタンを押下すると投稿が完了します。修正は任意であり、そのままでも投稿は可能です。

さらに、「コメント添削モデル」導入後の効果を検証し¹⁶¹、検証期間¹⁶²の「不快なコメント」数の平均を比較した結果、「コメント添削モデル」の導入後、一定の不快感¹⁶³を超える「不快なコメント」¹⁶⁴の投稿は、導入前に比べて約 24%減少したことがわかりました。また、「コメント添削モデル」が発動し修正されたコメントのうち、約 50%が不快感の低いコメントに書き直して投稿されたことが確認されました。さらに、ヤフコメ全体のコメント投稿数の傾向は変化することなく、「不快なコメン

¹⁶⁰ <https://www.lycorp.co.jp/ja/news/release/009291/>
https://news.yahoo.co.jp/newshack/information/comment_20240909.html

¹⁶¹ <https://www.lycorp.co.jp/ja/news/release/016951/>
https://news.yahoo.co.jp/newshack/inside/comment_20250306.html

¹⁶² 「コメント添削モデル」導入前の 2024 年 8 月 12 日～9 月 8 日と導入後の 2024 年 9 月 9 日～10 月 6 日

¹⁶³ 「Yahoo!ニュース」が定量的に効果検証するために、過度な批判や誹謗中傷、差別、わいせつや暴力的等のガイドラインの項目に違反するおそれのあるコメントを AI が点数化する「不適切投稿判定モデル」を活用し、総合的に点数化したものをいいます。

¹⁶⁴ 「不適切投稿判定モデル」で不快感を点数化し、その点数が一定以上のコメント

ト」が減少したことが示されました。これにより「コメント添削モデル」の発動により、ユーザーが自発的にコメントの見直しを実施し、ヤフコメの健全化に寄与したことが窺えます。「コメント添削モデル」は今後も適宜改善を検討していきます。

<オープンチャット・VOOM(パトロール・システム)>

オープンチャット・VOOMにおいて利用しているパトロール・プラットフォームでは、ユーザーによるテキストや画像や動画等の投稿について、投稿ガイドライン違反のリスク判定を自動的に行う AI を利用しています。

この AI は、LINE ヤフーのサービスに最適化された違反投稿の探知のシステムであり、加えて各サービスに最適化した調整を行うことで、個々のサービスの特性に応じて、ユーザーの投稿を適切に確認できる環境を実現しています。

パトロール・プラットフォームにおいて利用されている AI には、以下の 3 つがあります。

【AI 画像フィルター】

AI により画像や動画を解析し、投稿ガイドライン違反の可能性が高い投稿にモニタリングツール上で点数を付与してフラグづけを行います。2024 年度のアップデートにより、探知した違反のより詳細な分類化が可能となり、また探知対象も追加されました。2025 年度では、わいせつ/不快な違反画像判定における誤検知率の改善を行い、削除判断の対応時間が短縮されました。

【AI テキストフィルター】

AI によりテキストを解析し、投稿ガイドライン違反の可能性が高い投稿に対し、モニタリングツール上で点数を付与してフラグづけを行います。2025 年度には、違反の可能性のある文字列の検知精度の向上も行っています。

【AI showroom】

オープンチャットでは、AIにより、投稿ガイドラインに違反しているか判断を行います。最終的に人がAIの判断を確認した上で送信防止措置の可否を判断することで、従来よりも効率的に違反を検知し対応できるようになっております。

3. 専門チームによる対応体制

(1) 投稿監視体制

LINEヤフーは、コンテンツモデレーションについて、日本の文化を理解し、かつ、日本語で対応が可能な人員を145人配置しています¹⁶⁵。

知恵袋・ファイナンス掲示板・ヤフコメについては76人体制、オープンチャットとVOOMについては69人体制¹⁶⁶の専門チームが24時間365日稼働で、各サービスにおける違反投稿の探知・判定を行っており、違反投稿等を探知した場合は速やかに投稿の削除等の措置を行っております。専門チームが探知・判定を行った結果は、AIモデルにおける正解データとして学習され、機械によってその判断が再現されることとなります。

さらに、禁止事項等に抵触しているか否かについて疑義が生じた投稿については、専門チーム内での協議を経て複眼的な判断を行うだけでなく、必要に応じて法的判断を行う専門部門へのエスカレーションを実施しております。エスカレーション対応を行う人数は13人(弁護士を含む)でした。

以上のことから、コンテンツモデレーションを的確に実施するために必要な人的体制を確保できていると考えています。

(2) 教育体制

¹⁶⁵ 2026年3月時点

¹⁶⁶ いずれも投稿の削除等の監視業務を専門とする人員数をいいます。

サービスごとに定める投稿ガイドライン等に加えて内部の運用マニュアルを作成し、担当者ごとに判断にぶれが生じることのないように努めています。専門チームにおいては、配属時に1ヶ月以上の基礎研修(座学、モニタリング実習、OJT)を受けたスタッフが対応しています。

また、(1)で記載したように、必要に応じ法的判断を行う専門部門へのエスカレーションを実施し、適切な判断がなされるような体制を構築しています。さらに、日本の風俗・社会に関する問題(差別問題等)については、法的判断を行う専門部門から必要に応じて情報共有を行っています。

以上から、専門チームの正確性および一貫性確保のための取組を十分に行っていると考えています。

4. ボットの検出技術

知恵袋・ファイナンス掲示板・ヤフコメにおいては、サービスの安定的な提供および不正利用の防止の観点から、異常なトラフィックや不正なアクセスの検知・遮断を行う仕組みを導入しています。これにより、大量アクセス等によるサービスへの影響を抑制するとともに、意図しない利用の防止に努めています。一定の条件に基づき不正な利用が疑われる場合には、コメント投稿等の各種機能の利用を一時的に制限する措置を講じています。

また、ヤフコメにおいては、複合的な対策によってボットによるものを含む不適切な投稿を抑止しています。まず、コメントの投稿に当たっては携帯電話番号の登録を必須としています。また、同一内容、あるいはほぼ同一と判断できる内容を重複して投稿する行為を自動で検知し、人の目によって違反と判断された場合は投稿の削除等の措置を行います。

オープンチャット・VOOMにおいては、短時間に過度なアクション(投稿やリアクション等)を行う等の不正な利用が疑われる挙動の検知を行っています。検知によって

違反行為と判断された場合は、投稿等の各種機能の利用について、一定期間の制限を行う措置を講じています。

なお、サービスの性質によってボットによるサービスへの影響は異なるため、現時点では各サービスのリスクに応じた対応を行っています。もっとも、今後ボットによる不正利用が重大な問題となった場合には、必要に応じて検知・対策の強化を検討していきます。

5. 侵害情報調査専門員

情プラ法(第 24 条第 2 項・同規則第 14 条)では、大規模特定電気通信役務ごとに一人の侵害情報調査専門員(以下「専門員」といいます)の選任が義務付けられており、LINE ヤフーでは、知恵袋、ファイナンス掲示板、オープンチャット、VOOM の 4 つのサービスが指定されているほか、ヤフコメについても大規模特定電気通信役務と同様の取り組みを行っています。

そのため、情プラ法で義務付けられる 4 名の選任に加え、ヤフコメの 1 名を合わせ、最低でも 5 名の選任が必要ですが、LINE ヤフーでは、これらの 5 サービスについて、現在 8 名のメンバーが兼務して対応しています。

(1) 専門員の専門性および訓練の内容について

専門員には、情プラ法の削除請求に関する実務経験および関連法令・裁判例に関する知見を有するとともに、各サービスの特性についても十分に理解している者を選任しています。具体的には、権利侵害に対して法的な知見を用いて対応を行う専門部署に所属する LINE ヤフー社員を選任するほか、客観的な立場での検討を確保する観点から、外部弁護士も選任しています。

このように、専門員は、選任時点で実務経験および専門的知見を有する者を選任していますが、判断の一貫性および適切性を確保する観点から、専門員間で定期的に会合を開催し、対応事例の共有や判断基準に関する認識のすり合わせを行っています。

(2) 専門員の役割及び実績

専門員は、オンラインフォームからの申出のうち、専門的知見および実務経験を要する案件について調査および判断を行っています。また、削除等の適切な実施に資するよう、前述の専門チームと連携し、対応事例や知見の共有を行うとともに、削除基準の解釈や見直しについても継続的に検討しています。さらに、社会的な動向や新たな課題についても把握に努め、協力して対応を検討しています。

インターネット上における言論空間の健全化を目指した取組

1. 建設的コメント順位付けモデルの API の無償提供(ヤフコメ)

Yahoo!ニュースでは、2020年9月より建設的コメント順位付けモデルのAPIを外部に無償提供しています。同モデルを導入することにより、AI開発に必要となる大量の学習データの整備や計算コストなどの初期投資をかけずに、自社サービスにおけるコメントの健全化に向けた対策を実施することが可能となり、日本におけるインターネット上の言論空間の健全化に向けた業界全体の取組の向上につながることを期待されます。

現在、3社の導入実績があります¹⁶⁷。なお、本AI技術については、複数の特許を取得済みです。

<参考>

https://news.yahoo.co.jp/newshack/information/comment_API.html

2. インターネットセーフティ啓発活動

LINEヤフーは、インターネットを安全に利用するうえで身につけておきたい基礎知識やインターネットトラブルへの対応をクイズ形式で学べる、「全国統一ネット常識力模試」というコンテンツを提供しています¹⁶⁸。

LINEヤフー八戸センターでは、政策企画部門と連携して「八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会」を通じた子どもを守るインターネットセーフティ事業を展開し、講師派遣事業等の活動を行っています¹⁶⁹。

¹⁶⁷ 2025年4月8日時点における導入実績です。

¹⁶⁸ https://net-literacy.yahoo.co.jp/?cpt_n=go_soumu&cpt_m=all&cpt_s=other

¹⁶⁹ <https://www.lycorp.co.jp/ja/sustainability/csr/article/014/>
<https://it-tele8.com/>

3. 業界団体・官民連携による取組

すべてのユーザーが安心・安全に利用できるソーシャルメディア環境の実現のため、コミュニケーションサービスやアプリ等を展開する関連事業者、ならびに総務省および警察庁をはじめとした関係省庁等とも連携を図りながら、SNS上の課題への対応を加速し、取り組みを強化しています。

4. 青少年のLINE 利用環境整備に関する取り組み

(1) LINE みらい財団およびLINE ヤフー みらいプロジェクトの活動

LINE ヤフー株式会社では、青少年がトラブルに巻き込まれず、適切に「LINE」アプリ等のサービスを活用できるよう、情報リテラシー教育の推進を行っています。これまで本活動を担ってきた関連団体である一般財団法人LINE みらい財団(以下「LINE みらい財団」)の終了に伴い、その知見や活動のすべてはLINE ヤフーのCSR活動「LINE ヤフー みらいプロジェクト」¹⁷⁰へと継承されました。教材提供や教員向け支援ツールの提供、調査レポートの公開、および関係省庁・自治体との連携については、継承以降も継続的な活動を行っています。

これまで累計13,000回以上の出前授業(オンライン講演含む)を全国で実施してきましたが、現在は支援体制および実施内容の再構築を進めており、これに伴い新規受付は停止しております。今後の展開については、方針が整い次第、改めて案内する予定です。

また、自治体や専門家と協力した青少年のインターネット利用に関する調査研究を継続して実施しており、インターネットの利用環境の変化に応じ、その知見を教材開発に活かしています。

(2) 「GIGA ワークブック」2026年度版の提供

¹⁷⁰ <https://mirai.lycorp.co.jp/>

GIGA スクール構想下の教育現場支援を目的に、「GIGA ワークブック 2026 年度版」の無償提供を開始しました¹⁷¹。本教材は、2026 年 3 月時点で全国 21 都県・102 市区町村において公式教材として導入されています。

最新版では、これまでの情報モラルに加え、深刻な社会問題である「闇バイト」や SNS 上の「誹謗中傷」に関するコンテンツを大幅に拡充しました。また、1 人でも学べる「自主学习ノート」や、自身の行動傾向を客観的に把握できる「リスク診断シート」を新たに導入しました。児童・生徒が偽・誤情報やネット上のリスクに対して主体的に取り組む力を育めるよう、内容をアップデートしています。

(3) LINE を悪用した詐欺の防止に関する活動

近年、LINE を悪用した様々な詐欺事件が増加しています。これらの詐欺は、高額な金銭を騙し取るもの等、被害者だけでなくその家族や周囲の人々までも巻き込む悲惨な結果をもたらすことがあります。ユーザーが詐欺被害に遭わないために、警察庁、消費者庁、金融庁、国民生活センターと連携して、2024 年 3 月、具体的な詐欺の手口や身の守り方について詳しくご紹介するページを公表しました。

<参考>

https://fraud-alert.landpress.line.me/fraud_alert/

さらに、「SNS 型投資・ロマンス詐欺」の被害件数が急増している状況を受け、香川県警とソフトバンク株式会社の連携のもと、「SNS 型投資・ロマンス詐欺被害仮想体験ツール」が開発されました¹⁷²。これは、LINE 公式アカウントを利用して、生成 AI が扮した架空の犯人とのやりとりを「LINE」上で疑似体験することのできるツールです。本ツールの利用を通じ、未然に詐欺の手口を知っておくことで、詐欺被害の拡大防止につなげることを目的としています。

(4) 業界団体への加盟による民間事業者による取組の推進

¹⁷¹ <https://mirai.lycorp.co.jp/event/20260324/>

¹⁷² <https://www.lycorp.co.jp/ja/sustainability/csr/article/049/>

一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会、一般社団法人セーフアーインターネット協会、一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構等の業界団体に加盟し、他のプラットフォーム事業者をはじめとする企業・団体と協力し、業界全体で安心・安全なインターネット環境の整備に取り組んでいます。

また、総務省のデジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会・制度ワーキンググループの中間取りまとめにおいて、業界団体によりプラットフォーム事業者の自主的な対応を促す行動規範が策定されることが望ましい旨提言されたことを受け、一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構(以下、略称の「SMAJ」と呼称します。)において、「SMAJ デジタル空間の健全性確保に向けた業界イニシアティブ」が策定・公開されました。SMAJの会員である当社も、同イニシアティブの取組項目に関連する取組集の公開を行っております。

<参考>

https://smaj.or.jp/wp-content/uploads/2026/01/%E3%80%90%E5%8F%96%E7%B5%84%E3%80%91LINE%E3%83%A4%E3%83%95%E3%83%BC_20260122.pdf

(5) デジタル・ポジティブ・アクションへの参画

LINE ヤフーは、インターネットや SNS におけるユーザーの ICT リテラシー向上を目指して 2025 年 1 月に始動した官民連携プロジェクト「DIGITAL POSITIVE ACTION」¹⁷³に参画しています。

これからも様々なステークホルダーとともに、ICT リテラシーの向上に向けた取り組みを積極的に推進していきます。

(6) 上記以外の取組

¹⁷³ <https://www.soumu.go.jp/dpa/>

日本政府も支持し、ニュージーランド政府およびフランス政府によって主導されているテロリストおよび暴力的過激主義的コンテンツに対処するための「クライストチャーチ・コール宣言」に加盟しています。

- **クライストチャーチ・コール宣言への LINE の参加**

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008739.html

5. 偽・誤情報対策

これまで各サービスごとの項目において紹介してきたように、LINE ヤフーでは規約・ガイドライン等において偽・誤情報である旨が明らかな投稿を禁止し、これに違反する投稿について削除等の対応を行っています。

このような対応に加え、ファクト情報の伝達・支援、啓蒙啓発・リテラシー向上施策にも取り組んでいます。

1. ファクト情報の伝達・支援

ファクト情報の伝達・支援としては、Yahoo!ニュースにおいて偽・誤情報等の打ち消し・注意喚起に有効と考えられる記事を Yahoo!ニュース トピックスへ積極的に掲載するほか、コメント欄や特設サイトなどにおいて、専門家による解説・フォローアップを行う等の取組を行っています。

また、Yahoo!検索において、新型コロナウイルス関連情報や医療情報といった特定の検索クエリに対応する検索結果ページや、知恵袋における投稿ページの上部等の目立つ場所に公的機関等による正しい情報を掲載しています。

さらに、LINE NEWS では、中央省庁や NHK 等の信頼できる機関やサイトの情報を紹介したり、ファクトチェック活動の実績や内容が十分であると判断される団体の活動への導線を設けたりしています。

これらに加え、ファクトチェック・イニシアティブ(FIJ)や日本ファクトチェックセンター(JFC)の活動に賛同し、資金面での支援を行っています。また、コンテンツ面での連携(特設サイトへのリンク、ファクトチェックコンテンツの Yahoo!ニュースへの配信など)を行っています。

2. 啓蒙啓発・リテラシー向上

Yahoo!ニュースでは、啓蒙啓発・リテラシー向上施策として、有識者やメディアと連携してフェイクニュース対策に関するコンテンツを制作し、ユーザーへの啓発活動に活用しています。

- 「フェイクニュース」への備え～デマや不確かな情報に惑わされないために～
<https://news.yahoo.co.jp/special/fakenews/>
- ニュース健診 2024
https://news.yahoo.co.jp/kenshin/asahi_yahoo_2024/
- あなたは大丈夫？ 選挙で気をつけたいネットリテラシー
<https://news.yahoo.co.jp/pages/20220622>
- フェイクニュースの仕組みを“モンスター”にした“見て・知って・考える”体験展示イベント「フェイクニュースモンスター展」開催
<https://www.lycorp.co.jp/ja/news/release/019780/>

オープンチャットでは、自然災害時の誤情報(デマ)や詐欺に対して、注意すべき具体的な投稿例、信頼できる機関及び投稿に関するルール等を記載した WEB ページを公開し、注意喚起を行っています。

<参考>

https://openchat-jp.line.me/other/misinformation_during_disasters

また、自然災害以外の誤情報や詐欺に関しても、リテラシー向上のための啓発ページを案内しております。

- 詳細不明の求人・詐欺行為
<https://lin.ee/rGwPfQu/gyjp>

- 選挙に関する偽・誤情報

<https://lin.ee/2rc9HvX/gyjp>

- 事務局になりすましたオープンチャットの乗っ取り行為

<https://lin.ee/4VyWG4K/gyjp>

LINE ヤフー株式会社では、偽・誤情報による混乱や権利侵害等の被害を防ぐため、次世代の情報リテラシー向上を支援しています。これまで(2026年3月末日まで)、関連団体である一般財団法人LINE 未来財団(以下「LINE 未来財団」)が中心となって情報モラル教育を含む情報リテラシー教育の推進を担ってきましたが、同財団の解散に伴い、その志と活動のすべてをLINE ヤフーのCSR活動「LINE ヤフー 未来プロジェクト」¹⁷⁴へと継承しました。これにより、培ってきた知見を活かしながら、より持続的な体制で教育現場への実装を継続しています。

(1) 「GIGA ワークブック」による情報リテラシーの育成

自治体や学校現場に提供している「GIGA ワークブック」¹⁷⁵は、2026年3月時点で21都県・102市区町村に導入されています。2025年度(2026年度版)では、偽・誤情報対策を含む情報リテラシー教育の深化を目的に、以下のアップデートを行いました。

最新の社会課題(闇バイト・誹謗中傷)への対応：偽・誤情報に端を発する「闇バイト」への勧誘や、SNS上での「誹謗中傷」のリスクを自分事として考える教材を新設。情報の真偽や発信のリスクを正しく判断する力を養い、被害者にも加害者にもならないための視点を育みます。

個別最適な学びと「自主学習ノート」：自身の行動傾向を客観視できる「リスク診断シート」に加え、1人でも学べる「自主学習ノート」を追加しました。偽・誤情報への向き合い方を含む情報モラル全般を、学校・家庭・個人の往還で深められる構成としています。

¹⁷⁴ <https://mirai.lycorp.co.jp/>

¹⁷⁵ <https://mirai.lycorp.co.jp/moral/gigaworkbook/>

(2) 指導者支援と教育効果の可視化

多忙な教員が、最新の情報環境に即した指導を行えるよう支援体制を強化しています。

教員向け支援サイト・動画：指導のヒントを集約した「GIGA ワークブック for Teachers」¹⁷⁶や「研修動画」¹⁷⁷を公開。日々変化するネット環境に対し、先生方が「これならできそう」と感じられる一歩を後押ししています。

効果測定調査¹⁷⁸：2025年4月に第2回調査結果を公開。小中18校の児童生徒を対象に、情報の信頼性(デマ・フェイクニュース対策)や写真投稿リスクに関する授業前後の意識変化を分析し、教育現場へ提言しています。

(3) 情報防災教育の推進(災害時の偽・誤情報対策)

災害時にデマや誤情報に惑わされず命を守る行動が取れるよう、情報リテラシーと防災を掛け合わせた「情報防災訓練」¹⁷⁹を無償提供しています。情報の真偽を冷静に判断し、適切な情報入手・発信を行うための実践的な訓練機会を提供しています。

¹⁷⁶ <https://giga-work.jp/index.php>

¹⁷⁷ <https://mirai.lycorp.co.jp/support/#01>

¹⁷⁸ <https://mirai.lycorp.co.jp/report/20250414/>

¹⁷⁹ <https://mirai.lycorp.co.jp/bosai/>